

Yame

八女市内遺跡群 19

福岡県八女市酒井田所在遺跡の発掘調査報告書

八女市文化財調査報告書 第128集

2020

八女市教育委員会

Yame

八女市内遺跡群 19

福岡県八女市酒井田所在遺跡の発掘調査報告書

八女市文化財調査報告書 第128集

2020

八女市教育委員会

序

昭和57年度から開始されました八女南部地区県営圃場整備事業の進展に伴い、昭和60年度から当教育委員会では事業地内の埋蔵文化財発掘調査を進めてまいりました。その結果、縄文時代を中心としたアモメ遺跡や、まとまった規模の甕棺墓列が発見された松ノ本遺跡など、貴重な遺跡が発見され、この地域の文化を考える上で重要な成果を上げることができました。

これらの報告書が未刊行となっていた遺跡について、八女市は当時の現地における記録をとりまとめ、報告書の刊行を行ってまいりました。これらの遺跡の周知については、今後八女市が取り組まなければならない重要な課題です。

引き続き、今回は平成5年度に実施された八女南部第2地区県営圃場整備事業に伴い、調査を行った八女市酒井田地区の島田遺跡、及び向田遺跡について、以前実施された発掘調査で作成した図面と記録写真、及び出土遺物の実測図を整理し、報告書を刊行することになりました。

発掘調査に当たりまして、終始ご協力いただきました福岡県教育委員会、地元行政区をはじめ関係各位に深く感謝申し上げます。

令和2年3月31日

八女市教育委員会

教育長 橋 本 吉 史

例言

- ・本書は八女市南部地区県営圃場整備、及びその際の県営灌漑排水路設置にかかる、平成5年度に実施された八女市酒井田に所在する島田遺跡、及び向田遺跡の発掘調査報告書である。
- ・発掘調査は八女市教育委員会が実施した。整理作業については、出土遺物は文化財整理室（旧岩戸山歴史資料館）で調査時及び調査後作成された遺構・遺物の実測図の再整理を行い、本書に関する調査記録、及び出土遺物は現八女市において保管・収蔵している。
- ・本書使用の方位については、すべて座標北を基準としている。
- ・本書の執筆、及び編集については永田が行った。

本文目次

1 はじめに	1
(1) 調査に至る経緯	1
(2) 調査体制	1
2 島田遺跡の調査	5
(1) 整穴住居	5
(2) 建物	46
(3) 土坑	49
3 向田遺跡の調査	59
4 総括	62
(3) 遺跡の立地と環境	5
(4) 発掘調査の概要	5
(4) 溝状遺構	51
(5) 不明遺構	52
(6) その他の遺構	53
(7) 石器	59
(8) 遺構に伴わない遺物	59

挿図目次

第1図	島田遺跡、向田遺跡位置図 [1/1,250,000]	1
第2図	島田遺跡、向田遺跡 周辺道路図 [1/25,000]	2
第3図	島田遺跡、向田遺跡及び周辺道路関係調査区域図 [1/3,000]	3
第4図	島田遺跡 遺構配置図 [1/300]	4
第5図	島田遺跡 1号竪穴住居 (SB01) 実測図 [1/60]	5
第6図	島田遺跡 2号竪穴住居 (SB02) 実測図 [1/60]	5
第7図	島田遺跡 3号竪穴住居、2号竪穴住居 (SB01-02) 出土遺物実測図 [1/4]	6
第8図	島田遺跡 3号竪穴住居 (SB03) 実測図 [1/60]	6
第9図	島田遺跡 4号竪穴住居 (SB04) 実測図 [1/60]	7
第10図	島田遺跡 5号竪穴住居 (SB05) 実測図 [1/60]	8
第11図	島田遺跡 6号竪穴住居 (SB06) 実測図 [1/60]	8
第12図	島田遺跡 7号竪穴住居 (SB07) 実測図 [1/60]	9
第13図	島田遺跡 8号竪穴住居 (SB08) 実測図 [1/60]	9
第14図	島田遺跡 9号竪穴住居 (SB09) 実測図 [1/60]	10
第15図	島田遺跡 5・8・9号竪穴住居、6号竪穴住居 (SB05-06-08-09) 出土遺物実測図 [1/4]	11
第16図	島田遺跡 10号竪穴住居 (SB10) 実測図 [1/60]	12
第17図	島田遺跡 10号竪穴住居 (SB10) 出土遺物実測図 [1/4]	13
第18図	島田遺跡 11号竪穴住居 (SB11) 実測図 [1/60]	14
第19図	島田遺跡 12号竪穴住居 (SB12) 実測図 [1/60]	15
第20図	島田遺跡 13号竪穴住居 (SB13) 実測図 [1/60]	16
第21図	島田遺跡 14号竪穴住居 (SB14) 実測図 [1/60]	16
第22図	島田遺跡 15号竪穴住居 (SB15) 実測図 [1/60]	17
第23図	島田遺跡 11・13・15号竪穴住居、14号竪穴住居 (SB11-15) 出土遺物実測図 [1/4]	17
第24図	島田遺跡 16号竪穴住居 (SB16) 実測図 [1/60]	18
第25図	島田遺跡 17号竪穴住居 (SB17) 実測図 [1/60]	18
第26図	島田遺跡 18号竪穴住居 (SB18) 実測図 [1/60]	19
第27図	島田遺跡 17・18号竪穴住居 (SB17-18) 出土遺物実測図 [1/4]	19
第28図	島田遺跡 19号竪穴住居 (SB19) 実測図 [1/60]	20
第29図	島田遺跡 20号竪穴住居 (SB20) 実測図 [1/60]	20
第30図	島田遺跡 21号竪穴住居 (SB21) 実測図 [1/60]	21
第31図	島田遺跡 19・20・21号竪穴住居 (SB19-20-21) 出土遺物実測図 [1/4]	21
第32図	島田遺跡 22号竪穴住居 (SB22) 実測図 [1/60]	22
第33図	島田遺跡 23号竪穴住居 (SB23) 実測図 [1/60]	22
第34図	島田遺跡 24号竪穴住居 (SB24) 実測図 [1/60]	23
第35図	島田遺跡 22・23・24号竪穴住居 (SB22-23-24) 出土遺物実測図 [1/4]	23
第36図	島田遺跡 25号竪穴住居 (SB25) 実測図 [1/60]	24
第37図	島田遺跡 26号竪穴住居 (SB26) 実測図 [1/60]	24
第38図	島田遺跡 27号竪穴住居 (SB27) 実測図 [1/60]	25
第39図	島田遺跡 28・29号竪穴住居 (SB28-29) 実測図 [1/60]	25
第40図	島田遺跡 25・26・27・28・29号竪穴住居 (SB25-26-27-28-29) 出土遺物実測図 [1/4]	26
第41図	島田遺跡 30号竪穴住居 (SB30) 実測図 [1/60]	27
第42図	島田遺跡 30号竪穴住居 (SB30) 出土遺物実測図 [1/4]	28
第43図	島田遺跡 31号竪穴住居 (SB31) 実測図 [1/60]	29
第44図	島田遺跡 32号竪穴住居、33号竪穴住居 (SB32-33) 実測図 [1/60]	29
第45図	島田遺跡 31号竪穴住居、32号竪穴住居 (SB31-32) 出土遺物実測図 [1/4]	30
第46図	島田遺跡 33号竪穴住居 (SB33) 出土遺物実測図 [1/4]	30
第47図	島田遺跡 34号竪穴住居 (SB34) 実測図 [1/60]	31
第48図	島田遺跡 35号竪穴住居 (SB35) 実測図 [1/60]	31
第49図	島田遺跡 36号竪穴住居 (SB36) 実測図 [1/60]	32
第50図	島田遺跡 34号竪穴住居、35・36号竪穴住居 (SB34-35-36) 出土遺物実測図 [1/4]	32
第51図	島田遺跡 37・38号竪穴住居 (SB37-38) 実測図 [1/60]	33
第52図	島田遺跡 39号竪穴住居 (SB39) 実測図 [1/60]	33
第53図	島田遺跡 40・41号竪穴住居 (SB40-41) 実測図 [1/60]	34
第54図	島田遺跡 39・40・41号竪穴住居 (SB39-40-41) 出土遺物実測図 [1/4]	35
第55図	島田遺跡 42号竪穴住居 (SB42) 実測図 [1/60]	35
第56図	島田遺跡 42号竪穴住居 (SB42) 出土遺物実測図 [1/4]	36
第57図	島田遺跡 43号竪穴住居 (SB43) 実測図 [1/60]	37
第58図	島田遺跡 44号竪穴住居 (SB44) 実測図 [1/60]	37
第59図	島田遺跡 45号竪穴住居 (SB45) 実測図 [1/60]	37
第60図	島田遺跡 46号竪穴住居 (SB46) 実測図 [1/60]	38
第61図	島田遺跡 43・44号竪穴住居、45・46号竪穴住居 (SB43-44-45-46) 出土遺物実測図 [1/4]	38
第62図	島田遺跡 49号竪穴住居 (SB49) 実測図 [1/60]	38
第63図	島田遺跡 49号竪穴住居 (SB49) 出土遺物実測図 [1/4]	38
第64図	島田遺跡 50号竪穴住居 (SB50) 実測図 [1/60]	39
第65図	島田遺跡 51号竪穴住居 (SB51) 実測図 [1/60]	39
第66図	島田遺跡 52号竪穴住居 (SB52) 実測図 [1/60]	39

第67回	島田遺跡 53号竪穴状遺構(SB53) 実測図[1/60]	40
第68回	島田遺跡 54-70号竪穴住居(SB54-70) 実測図[1/60]	40
第69回	島田遺跡 50-51・54号竪穴住居、52・53号竪穴状遺構(SB50-51・52・53-54) 出土遺物実測図[1/4]	41
第70回	島田遺跡 55-56号竪穴状遺構(SB55-56) 実測図[1/60]	42
第71回	島田遺跡 57号竪穴住居、77号竪穴状遺構(SB57-77) 実測図[1/60]	42
第72回	島田遺跡 57号竪穴住居(SB57) 出土遺物実測図[1/4]	42
第73回	島田遺跡 58号竪穴住居(SB58) 実測図[1/60]	43
第74回	島田遺跡 59号竪穴住居(SB59) 実測図[1/60]	43
第75回	島田遺跡 60号竪穴住居(SB60) 実測図[1/60]	43
第76回	島田遺跡 61・62号竪穴住居(SB61-62) 実測図[1/60]	44
第77回	島田遺跡 63号竪穴住居、81-83号竪穴状遺構(SB63-81-83) 実測図[1/60]	44
第78回	島田遺跡59-63号竪穴住居(SB59-63) 出土遺物実測図[1/4]	45
第79回	島田遺跡 67号竪穴状遺構(SB67) 実測図[1/60]	45
第80回	島田遺跡 66号竪穴住居、67号竪穴状遺構(SB66-67) 出土遺物実測図[1/4]	45
第81回	島田遺跡 69号竪穴住居(SB69) 出土遺物実測図[1/4]	45
第82回	島田遺跡 72号竪穴住居(SB72) 実測図[1/60]	46
第83回	島田遺跡 73号竪穴状遺構(SB73) 実測図[1/60]	46
第84回	島田遺跡 72号竪穴住居、73号竪穴状遺構(SB72-73) 出土遺物実測図[1/4]	46
第85回	島田遺跡 74号竪穴状遺構(SB74) 実測図[1/60]	46
第86回	島田遺跡 75号竪穴住居(SB75) 実測図[1/60]	46
第87回	島田遺跡 76号竪穴住居、80号竪穴状遺構(SB76-80) 実測図[1/60]	46
第88回	島田遺跡 75-76号竪穴住居(SB75-76) 出土遺物実測図[1/4]	47
第89回	島田遺跡 78号竪穴住居(SB78) 実測図[1/60]	47
第90回	島田遺跡 78-79号竪穴住居(SB78-79) 出土遺物実測図[1/4]	48
第91回	島田遺跡 82号竪穴状遺構(SB82) 実測図[1/60]	48
第92回	島田遺跡 84号竪穴住居(SB84) 実測図[1/60]	48
第93回	島田遺跡 81-83号竪穴状遺構、84-85号竪穴住居(SB81-85) 出土遺物実測図[1/4]	48
第94回	島田遺跡 1号建物 実測図[1/60]	49
第95回	島田遺跡 2号建物 実測図[1/60]	50
第96回	島田遺跡 3号建物 実測図[1/60]	50
第97回	島田遺跡 2-3号建物 出土遺物実測図[1/4]	51
第98回	島田遺跡 4号建物 実測図[1/60]	51
第99回	島田遺跡 1-7号土坑(SK01-07) 実測図[1/60]	52
第100回	島田遺跡 土坑出土遺物実測図[1/4]	53
第101回	島田遺跡 1-3号溝状遺構(SD01-03) 実測図[1/60]	54
第102回	島田遺跡 2号溝状遺構(SD02) 実測図[1/60-1/180]	55
第103回	島田遺跡 2号溝状遺構(SD02) 出土遺物実測図①[1/4]	56
第104回	島田遺跡 2号溝状遺構(SD02) 出土遺物実測図②[1/4]	57
第105回	島田遺跡 2号溝状遺構(SD02) 出土遺物実測図③[1/4]	58
第106回	島田遺跡 2号溝状遺構(SD02) 出土遺物実測図④[1/4]	59
第107回	島田遺跡 2号溝状遺構(SD02) 出土遺物実測図⑤[1/4]	60
第108回	島田遺跡 1号不明遺構 実測図[1/60]	61
第109回	島田遺跡 1号不明遺構 出土遺物実測図[1/4]	61
第110回	島田遺跡 2号不明遺構 実測図[1/60]	61
第111回	島田遺跡 3号不明遺構 実測図[1/60]	61
第112回	島田遺跡 2-3号不明遺構 出土遺物実測図[1/4]	62
第113回	島田遺跡 その他の遺構 出土遺物実測図[1/4]	62
第114回	島田遺跡 石器 実測図[2/3]	63
第115回	島田遺跡 その他の遺物 実測図[1/4]	63
第116回	島田遺跡 遺構時代毎索引[1/900]	63

表目次

遺物観察表	64
-------	----

図版目次

図版 1 島田遺跡	75
(1) 空堀(西から)	75
図版 2 島田遺跡(遺構)	76
(1) 1-3・4号竪穴住居2号竪穴状遺構(南から)	76
(2) 2号竪穴状遺構(南西から)	76
(3) 2号竪穴状遺構遺物出土状況(北から)	76
(4) 3号竪穴住居(南から)	76
(5) 4号竪穴住居(西から)	76
(6) 5号竪穴住居カマド部分(北西から)	76
(7) 6号竪穴状遺構(北西から)	76
図版 3 島田遺跡(遺構)	77
(1) 7号竪穴住居(南西から)	77
(2) 8号竪穴住居(南東から)	77
(3) 9号竪穴住居(北西から)	77
(4) 9号竪穴住居カマド検出状況(西から)	77
(5) 10号竪穴住居(南西から)	77
(6) 11号竪穴住居(南東から)	77
(7) 12-13号竪穴住居(南東から)	77
(8) 13号竪穴住居南側カマド(南東から)	77

図版 4 鳥田遺跡(遺構)	78	(4) 17号竪穴住居カマド(西から)	78	(7) 18-19号竪穴住居(東から)	78
(1) 15-16号竪穴住居(南東から)	78	(5) 18号竪穴住居(東から)	78	(8) 19号竪穴住居(南東から)	78
(2) 16号竪穴住居カマド(南西から)	78	(6) 18号竪穴住居カマド(南東から)	78		
(3) 17号竪穴住居(北西から)	78				
図版 5 鳥田遺跡(遺構)	79	(4) 22-23号竪穴住居(南から)	79	(7) 23-24号竪穴住居(南から)	79
(1) 20号竪穴住居(南東から)	79	(5) 22号竪穴住居カマド(西から)	79	(8) 24号竪穴住居カマド(南から)	79
(2) 20号竪穴住居カマド(東から)	79	(6) 23号竪穴住居(南から)	79		
(3) 21-25号竪穴住居(南から)	79				
図版 6 鳥田遺跡(遺構)	80	(4) 27号竪穴住居(南から)	80	(7) 28号竪穴住居カマド(南東から)	80
(1) 25号竪穴住居カマド(東から)	80	(5) 27号竪穴住居カマド(南東から)	80	(8) 30号竪穴住居(南から)	80
(2) 26号竪穴住居カマド掘出前(南から)	80	(6) 28-29号竪穴住居(南東から)	80		
(3) 26号竪穴住居カマド(南から)	80				
図版 7 鳥田遺跡(遺構)	81	(4) 32号竪穴住居、33号竪穴住居(南から)	81	(7) 34号竪穴住居カマド(東から)	81
(1) 30号竪穴住居中央土坑(北西から)	81	(5) 33号竪穴住居カマド(南から)	81	(8) 35号竪穴住居(西東から)	81
(2) 31号竪穴住居(南から)	81	(6) 34号竪穴住居(南から)	81		
(3) 31号竪穴住居カマド(南から)	81				
図版 8 鳥田遺跡(遺構)	82	(4) 37-38号竪穴住居遺構(南から)	82	(7) 40-41号竪穴住居カマド(南東から)	82
(1) 35号竪穴住居カマド(東から)	82	(5) 39号竪穴住居(南から)	82	(8) 40号竪穴住居カマド(南東から)	82
(2) 36号竪穴住居(南東から)	82	(6) 39号竪穴住居カマド(南東から)	82		
(3) 36号竪穴住居カマド(東から)	82				
図版 9 鳥田遺跡(遺構)	83	(4) 43号竪穴住居遺構(南から)	83	(7) 45号竪穴住居(西から)	83
(1) 41号竪穴住居カマド(南東から)	83	(5) 43号竪穴住居カマド(南から)	83	(8) 45号竪穴住居カマド(西から)	83
(2) 42号竪穴住居(南から)	83	(6) 44号竪穴住居カマド(南西から)	83		
(3) 42号竪穴住居カマド(南東から)	83				
図版 10 鳥田遺跡(遺構)	84	(4) 52-53号竪穴住居遺構(南から)	84	(7) 53号竪穴住居遺構(南西から)	84
(1) 46号竪穴住居、49号竪穴住居遺構(東から)	84	(5) 52号竪穴住居カマド(西から)	84	(8) 54-70号竪穴住居(東から)	84
(2) 50-51号竪穴住居(東から)	84	(6) 53号竪穴住居遺構(西から)	84		
(3) 50号竪穴住居カマド(東から)	84				
図版 11 鳥田遺跡(遺構)	85	(4) 58号竪穴住居カマド(北東から)	85	(7) 60-61-62-78号竪穴住居(東から)	85
(1) 54号竪穴住居カマド(東から)	85	(5) 59号竪穴住居カマド(東から)	85	(8) 60号竪穴住居カマド(東から)	85
(2) 55-56号竪穴住居遺構(北東から)	85	(6) 59号竪穴住居カマド(東から)	85		
(3) 57号竪穴住居、77号竪穴住居遺構(北東から)	85				
図版 12 鳥田遺跡(遺構)	86	(4) 70号竪穴住居内焼土断面	86	(7) 78号竪穴住居カマド(北東から)	86
(1) 63号竪穴住居(南から)	86	(5) 72号竪穴住居カマド(東から)	86	(8) 79号竪穴住居遺物出土状況(遺構箇所不明)	86
(2) 63号竪穴住居カマド(南から)	86	(6) 76号竪穴住居遺物出土状況(北から)	86		
(3) 67-74号竪穴住居遺構(南から)	86				
図版 13 鳥田遺跡(遺構)	87	(4) 84号竪穴住居(南から)	87	(7) 2-3-4号土坑(北から)	87
(1) 82号竪穴住居遺構(東から)	87	(5) 4号遺物(西から)	87		
(2) 82号竪穴住居カマド(東から)	87	(6) 1号土坑(北から)	87		
(3) 84号竪穴住居(西から)	87				
図版 14 鳥田遺跡(遺構)	88	(4) 2号溝状遺構(南から)	88	(7) 2号不明遺構(南西から)	88
(1) 5号土坑(西から)	88	(5) 2号溝状遺構(南から)	88	(8) 3号不明遺構(南から)	88
(2) 7号土坑(南東から)	88	(6) 1号不明遺構(北から)	88		
(3) 1号溝状遺構(南から)	88				
図版 15 鳥田遺跡(出土遺物)	89	(6) 7図18	89	(11) 7図	89
(1) 7図2	89	(7) 7図19	89	(12) 7図	89
(2) 7図3	89	(8) 7図20	89	(13) 15図4	89
(3) 7図5	89	(9) 7図25	89		
(4) 7図15	89	(10) 7図28	89		
(5) 7図17	89				
図版 16 鳥田遺跡(出土遺物)	90	(5) 17図12	90	(9) 17図17	90
(1) 15図5	90	(6) 17図13	90	(10) 17図18	90
(2) 15図8	90	(7) 17図14	90	(11) 17図19	90
(3) 15図9	90	(8) 17図16	90		
(4) 15図10	90				

図版 17 鳥田遺跡(出土遺物)	91				91
(1) 17E20	91	(5) 23E56	91	(9) 23E18	91
(2) 17E21	91	(6) 23E12	91	(10) 23E	91
(3) 17E26	91	(7) 23E13	91	(11) 23E	91
(4) 17E	91	(8) 23E15	91		
図版 18 鳥田遺跡(出土遺物)	92				92
(1) 23E	92	(6) 27E10	92	(11) 31E2	92
(2) 27E1	92	(7) 27E14	92	(12) 31E4	92
(3) 27E2	92	(8) 27E	92	(13) 31E6	92
(4) 27E3	92	(9) 27E	92		
(5) 27E4	92	(10) 31E1	92		
図版 19 鳥田遺跡(出土遺物)	93				93
(1) 31E8	93	(5) 35E10	93	(9) 35E	93
(2) 31E	93	(6) 35E11	93	(10) 35E	93
(3) 31E	93	(7) 35E13	93	(11) 40E1	93
(4) 35E9	93	(8) 35E14	93	(12) 40E7	93
図版 20 鳥田遺跡(出土遺物)	94				94
(1) 40E16	94	(5) 40E22	94	(9) 42E13	94
(2) 40E17	94	(6) 40E24	94	(10) 42E14	94
(3) 40E20	94	(7) 40E27	94	(11) 42E15	94
(4) 40E21	94	(8) 40E	94		
図版 21 鳥田遺跡(出土遺物)	95				95
(1) 42E16	95	(6) 42E21	95	(11) 42E	95
(2) 42E17	95	(7) 42E22	95	(12) 45E1	95
(3) 42E18	95	(8) 42E23	95	(13) 45E2	95
(4) 42E19	95	(9) 42E25	95		
(5) 42E20	95	(10) 42E26	95		
図版 22 鳥田遺跡(出土遺物)	96				96
(1) 45E3	96	(5) 46E13	96	(9) 50E3	96
(2) 45E4	96	(6) 46E	96	(10) 50E4	96
(3) 45E	96	(7) 50E1	96		
(4) 46E6	96	(8) 50E2	96		
図版 23 鳥田遺跡(出土遺物)	97				97
(1) 50E5	97	(5) 50E11	97	(9) 50E15	97
(2) 50E6	97	(6) 50E12	97	(10) 54E9	97
(3) 50E7	97	(7) 50E13	97	(11) 54E10	97
(4) 50E9	97	(8) 50E13	97	(12) 54E11	97
図版 24 鳥田遺跡(出土遺物)	98				98
(1) 54E	98	(5) 56E4	98	(9) 56E8	98
(2) 54E	98	(6) 56E5	98	(10) 56E9	98
(3) 56E2	98	(7) 56E	98	(11) 56E10	98
(4) 56E3	98	(8) 56E7	98	(12) 56E11	98
図版 25 鳥田遺跡(出土遺物)	99				99
(1) 56E12	99	(5) 56E16	99	(9) 56E24	99
(2) 56E13	99	(6) 56E19	99	(10) 56E25	99
(3) 56E14	99	(7) 56E22	99	(11) 56E26	99
(4) 56E15	99	(8) 56E23	99	(12) 56E29	99
図版 26 鳥田遺跡(出土遺物)	100				100
(1) 56E34	100	(5) 61E1	100	(9) 61E	100
(2) 56E	100	(6) 61E6	100	(10) 63E	100
(3) 61E2	100	(7) 61E7	100	(11) 69E1	100
(4) 61E3	100	(8) 61E12	100	(12) 69E2	100
図版 27 鳥田遺跡(出土遺物)	101				101
(1) 69E4	101	(6) 69E16	101	(11) 69E34	101
(2) 69E7	101	(7) 69E17	101	(12) 69E35	101
(3) 69E8	101	(8) 69E19	101	(13) 69E	101
(4) 69E10	101	(9) 69E32	101		
(5) 69E12	101	(10) 69E33	101		

図版 28 鳥田遺跡(出土遺物)					102
(1) 69図	102	(5) 72図3	102	(9) 78図11	102
(2) 69図	102	(6) 72図4	102	(10) 78図13	102
(3) 72図1	102	(7) 72図5	102	(11) 78図14	102
(4) 72図2	102	(8) 78図1	102	(12) 78図15	102
図版 29 鳥田遺跡(出土遺物)					103
(1) 78図15	103	(5) 78図	103	(9) 84図1	103
(2) 78図17	103	(6) 78図	103	(10) 84図2	103
(3) 78図	103	(7) 80図	103	(11) 84図3	103
(4) 78図	103	(8) 81図	103		
図版 30 鳥田遺跡(出土遺物)					104
(1) 88図1	104	(5) 88図5	104	(9) 88図	104
(2) 88図2	104	(6) 88図6	104	(10) 90図1	104
(3) 88図3	104	(7) 88図7	104	(11) 90図	104
(4) 88図4	104	(8) 88図8	104	(12) 93図2	104
図版 31 鳥田遺跡(出土遺物)					105
(1) 93図3	105	(5) 93図9	105	(9) 100図10	105
(2) 93図4	105	(6) 97図3	105	(10) 100図11	105
(3) 93図7	105	(7) 100図1	105	(11) 100図12	105
(4) 93図8	105	(8) 100図3	105		
図版 32 鳥田遺跡(出土遺物)					106
(1) 100図13	106	(4) 103図15	106	(7) 103図27	106
(2) 100図29	106	(5) 103図22	106	(8) 103図28	106
(3) 100図31	106	(6) 103図24	106		
図版 33 鳥田遺跡(出土遺物)					107
(1) 103図29	107	(5) 104図57	107	(9) 105図91	107
(2) 103図30	107	(6) 104図58	107	(10) 105図95	107
(3) 104図52	107	(7) 104図79	107		
(4) 104図53	107	(8) 105図85	107		
図版 34 鳥田遺跡(出土遺物)					108
(1) 105図97	108	(4) 107図116	108	(7) 107図123	108
(2) 105図98	108	(5) 107図118	108	(8) 109図9	108
(3) 105図102	108	(6) 107図119	108	(9) 113図7	108
図版 35 鳥田遺跡(出土遺物)					109
(1) 113図8	109	(4) 手捏わ土器等	109	(7) 土製紡錘車	109
(2) 113図10	109	(5) 土製模造鏡	109	(8) 土罐	109
(3) ミニチュア土器・手捏わ土器	109	(6) 玉状土製品	109		
図版 36 鳥田遺跡(出土遺物)					110
(1) 白玉	110	(2) 石製紡錘車	110	(3) 石製品	110
図版 37 向田遺跡					111
(1) 向田遺跡(南西から)	111	(2) 向田遺跡(北東から)	111		

1 はじめに

(1) 調査に至る経緯

平成5年度八女市南部地区県営圃場整備は、八女南部第2地区分として酒井田地区を中心に12ヘクタールの事業が計画された。併せて同年度には、当圃場整備事業地内において、県営灌漑排水事業(筑後東部第1期地区)も計画された。計画に先立って平成4年11月に当該地区の試掘調査を実施し、事業地内の埋蔵文化財の把握を行った。その後、圃場整備事業、灌漑排水路事業の事業計画が具体化してきたため、八女市、福岡県教育委員会、土地改良区筑後川水系農地開発事務所と協議を重ねながら、事業地内において掘削や削平を受ける部分について工事と併行して発掘調査を実施することになった。



第1図 島田遺跡、向田遺跡位置図 [1/1,250,000]

(2) 調査体制

平成5年度(現地調査)

八女市教育委員会

教 育 長

坂 田 不二夫

教育部 教育部長

渡 辺 勲

社会教育課 課 長

山 口 龍 一

課長補佐兼
文化財係長

中 村 武 紀

文化財係

赤 崎 敏 男

大 塚 恵 治 中 川 寿 賀 子(嘱託)

令和元年度(報告書作成)

八女市教育委員会

教 育 長

橋 本 吉 史

教育部 教育部長

井 手 勇 一

文化振興課 課 長

久 間 政 幸

参事補佐

中 川 寿 賀 子

文 化 係

樋 口 昌 伸

永 田 寧(整理担当)

檀 佳 克

馬 渡 洋 平 甲 斐 郁

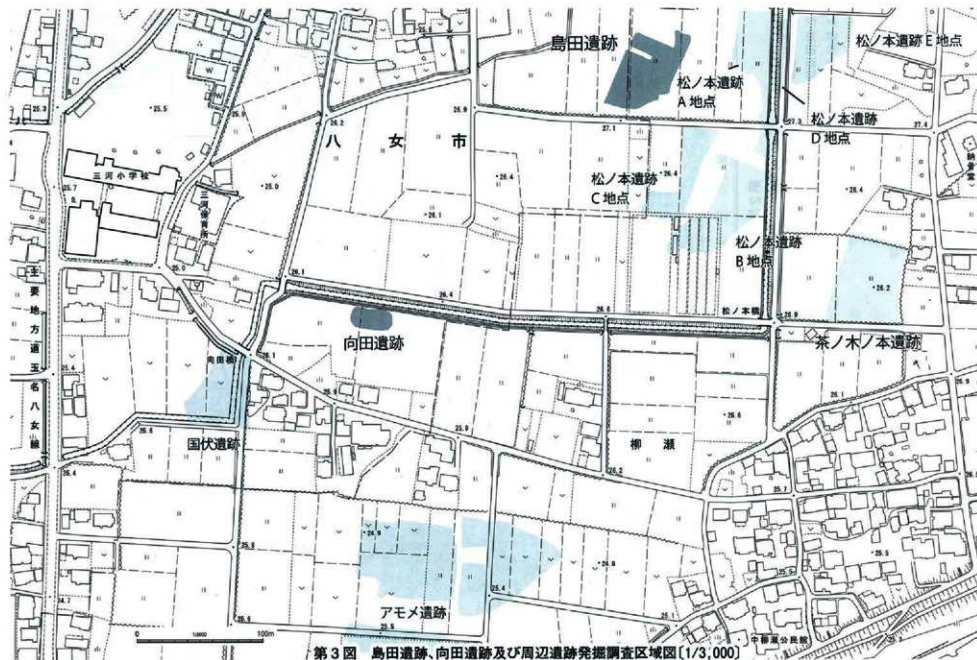
中 島 葉 月



※国土地理院の電子地図25000「八女」の一部を切り取って掲載

第2図 島田遺跡、向田遺跡 周辺遺跡図(1/25,000)

- | | | | |
|-------------|-----------|---------------|------------|
| 1. 島田遺跡 | 11. 新替遺跡 | 21. 島井遺跡 | 31. 宮ノ后遺跡 |
| 2. 向田遺跡 | 12. 池上遺跡 | 22. 長田遺跡 | 32. 亀ノ甲遺跡 |
| 3. 篠原遺跡 | 13. 野田遺跡 | 23. 松ノ本遺跡 | 33. 西山ノ上遺跡 |
| 4. 立野・大坪遺跡 | 14. 水洗遺跡 | 24. 茶ノ木ノ本遺跡 | 34. 岩戸山古墳 |
| 5. 川原遺跡 | 15. 宿町遺跡 | 25. アモメ遺跡 | 35. 乗場古墳 |
| 6. 大坪・前田遺跡 | 16. 宮ノ前遺跡 | 26. 国伏遺跡 | 36. 福島城址 |
| 7. 中里遺跡 | 17. 二反田遺跡 | 27. 前古賀・五反田遺跡 | |
| 8. 大坪遺跡2次調査 | 18. 深田遺跡 | 28. 川犬古墳群 | |
| 9. 打越遺跡 | 19. 京田遺跡 | 29. 新庄・六反田遺跡 | |
| 10. 袴田遺跡 | 20. 石町遺跡 | 30. ヒヤケ遺跡 | |





第4図 島田遺跡 遺構配置図(1/300)

(3) 遺跡の立地と環境

鳥田遺跡及び向田遺跡のある酒井田地区は、南側を流れる矢部川の氾濫によって形成された自然堤防上に位置しており、自然堤防上に幾度となく繰り返された厚い砂の堆積がみられる。鳥田遺跡の南側には当遺跡の前年度に調査が行われた縄文時代後期の集落であるアモメ遺跡が発見され、自然堤防上やその周辺に縄文時代後期から人が住み始めた形跡がみられる。弥生時代の集落としては宿町遺跡、二反田遺跡、宮ノ前遺跡、京田遺跡、鍛冶屋遺跡、古墳時代の遺跡として深田遺跡、歴史時代の集落として石町遺跡、池上遺跡、国伏遺跡などがある。

(4) 発掘調査の概要

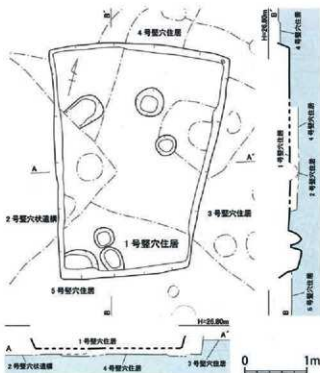
鳥田遺跡は先行して刊行された概報によると、八女市酒井田に所在し、調査面積は約2,900㎡で、調査期間は平成5年8月25日～平成6年1月6日まで行われている。調査区は標高26.0m～26.7mのところであり、北側から南側にかけて少しずつ地形が低くなっている。

2 鳥田遺跡の調査

(1) 堅穴住居

鳥田遺跡では調査時に85基まで付番された堅穴住居が検出されている。しかし図面上で付番箇所が確認できないもの、また付番された遺構の範囲が判断できないものなどが存在する。今回、整理するにあたり、調査時に堅穴住居とされて検出されたもののうち、住居と考えるのが困難な物については堅穴状遺構として記載することとした。

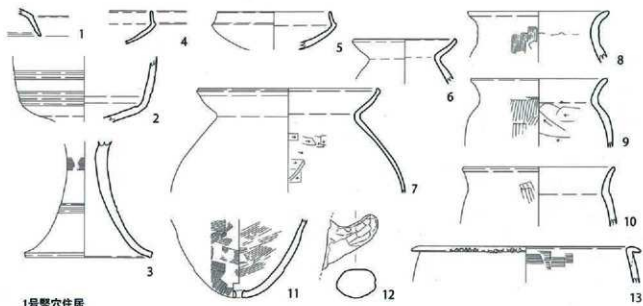
1号堅穴住居 [第5図 図版2] 調査区の北側にあり、2号堅穴状遺構、3～5号堅穴住居を切る。南側壁が北側壁より短い長辺3.7m、短辺2.5m、方位はN-12°-Wである。検出面からの深さ0.28mの不定型な堅穴住居である。側壁に土坑が検出されたが、これは4号堅穴住居に設けられていたものである可能性が高い。複数確認できる



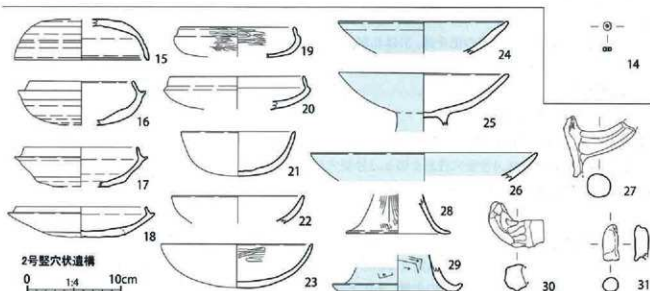
第5図 鳥田遺跡 1号堅穴住居 (SB01) 実測図 [1/60]



第6図 鳥田遺跡 2号堅穴状遺構 (SB02) 実測図 [1/60]



1号竪穴住居



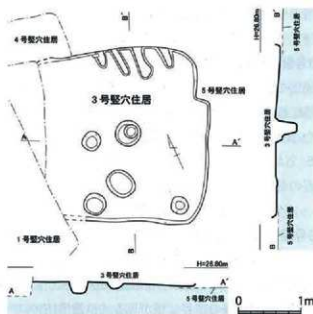
2号竪穴状遺構

0 1:4 10cm

第7図 島田遺跡 1号竪穴住居、2号竪穴状遺構(SB01・02) 出土遺物実測図[1/4]

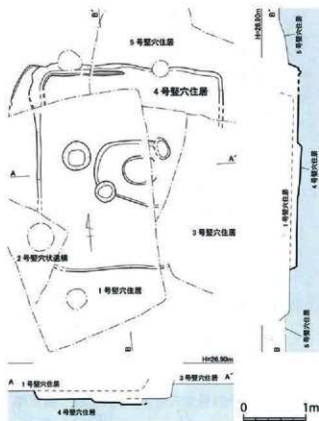
ピットはいずれも柱穴とは考えられにくい。出土遺物[第7図1~14 図版15・36]1~3は須恵器、4~12は土師器、1は坏蓋で、天井部と口縁部の境に稜線、端部内面に段。2・3は高坏で、2は坏部外面に2条と3条の沈線が廻る。3の脚部外面には基部付近にカキメが施され、中程に2条の沈線が廻る。4・5は坏。6・7は壺で、口縁部が基部でくの字に屈曲して内反しながら開く。8・9・10は甕。11は飯で、底部に1箇所の穿孔がある。12は把手。13は弥生土器で外側へ屈折した口縁端部に刻み目が施される。14は滑石製の白玉。

2号竪穴状遺構[第6図 図版2]調査区の北側、1号竪穴住居の西側にあり、1号竪穴住居に切られ、5号竪穴



第8図 島田遺跡 3号竪穴住居(SB03) 実測図[1/60]

住居を切る。東側の壁が平行する形で南北2基の遺構が確認できた。いずれも西側が未掘で、北側の遺構は東側壁が約4.2mを測る。方位はN-31°-Eである。北東コーナー付近に土坑が確認できる。南側の遺構は東側壁が3.6m以上残存する。いずれも方位はN-31°-Eで、前後関係はわからない。出土遺物【第7図15-31 図版15-35】15-18は須恵器で、15は坏蓋で天井部と口縁部の境に稜線、内面口縁端部に段が付く。16-18は坏身で厚みのある立ち上がり、回転ヘラケズリ)の範囲が比較的広く、受け部付近まで施される。やや歪みが大きい。18は立ち上がりが短く内傾気味。19-26・28-29は土師器で、19-23は坏で19は内外に23は内面のみミガキが施される。24-26・28-29は高坏で、23・25は内外、24は外面に赤色顔料が確認できた。26は高坏の口縁部片。27は須恵器の把手。30は土師質の把手部。31は北側の焼土(平面図には記録がない)近くで出土したと記された手捏ね土器で支脚をかたどったものか。



第9図 島田遺跡 4号竪穴住居 (SB04) 実測図 [1/60]

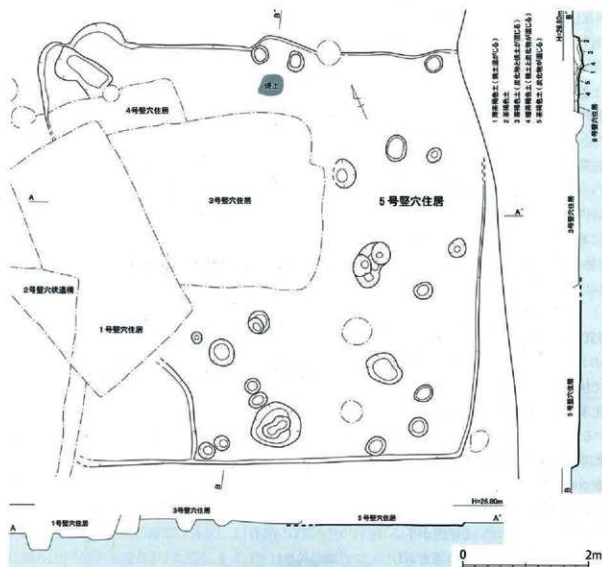
3号竪穴住居【第8図 図版2】調査区の北側にあり、1号

竪穴住居に西側を切られ、4号竪穴住居を切る。1号竪穴住居との間に別遺構(プランは不明)に切られる。規模は一辺約3.0m、検出面からの深さは0.02mで、方位はN-70°-Eである。少しいびつな方形プランを呈しており、東側壁は北側1/3あたりで東側に約20cm程広がる。柱穴となるようなピットも確認出来ない。北側壁から南に延びる4条の盛り上がり切が現地での平面図に記載されていたが、その性格は不明である。出土遺物は無い。

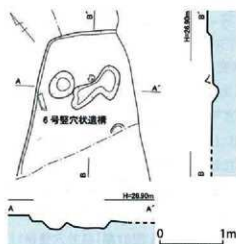
4号竪穴住居【第9図 図版2】調査区の北側にあり、1・3-5号竪穴住居、2号竪穴状遺構に切られるほぼ方形の竪穴住居で、規模は一辺が約3.0mと考えられ、方位はN-70°-E。柱穴は確認できない。中央に土坑を設ける。北側に壁溝が確認できた。出土遺物は無い。

5号竪穴住居【第10図 図版2】調査区の北側にあり、1・3号竪穴住居、2号竪穴状遺構に西側壁を切られ、4号竪穴住居を切る。一辺約2.7mの、ほぼ方形の竪穴住居で、方位はN-24°-Eで、検出面からの深さは約0.04mである。内部に複数ピットが検出されているが、柱穴といえるものは無い。北側壁中央付近に焼土とその両側にピットが確認された。出土遺物【第15図1-7 図版16-35】いずれの遺物も覆土中で出土。1-3は土師器で1は甕で口縁部が強く外反する。2は坏部下半が丸みをおびる高坏。3は直線的に開きながら立ち上がる口縁部片。4は手捏ね土器。5は弥生土器の蓋のつまみ部か。6は甕の把手。7は土錘。

6号竪穴状遺構【第11図 図版2】調査区の北側、3号不明遺構の南側に検出され、北側のコーナーのみ検出された。東側を調査区境界で切られる。遺構検出面からの深さは0.12mで、南側は未掘となっており、平面プランを推測できない。出土遺物【第15図8-10 図版16】8は胎土は土師質であるが回転ヘラケズリ)が施され、須恵器の坏蓋に酷似し、天井部と口縁部の境界に稜が巡る。9は遺構内のコーナー付近の不定形の土坑側で出土した須恵器の高坏の脚部で、脚端部が斜上方に稜をもつ。10は土師器の甕で、湾曲した口縁が開く。



第10図 島田遺跡 5号竪穴住居 (SB05) 実測図 [1/60]



第11図 島田遺跡
6号竪穴状遺構 (SB06)
実測図 [1/60]

7号竪穴住居 [第12図 図版3] 調査区が北東側で北側に突出する根元部の西側で検出され、12号竪穴住居を南側コーナー付近で切る。東西幅4.7mで方位はN-63°-W、北側は調査区外である。東側壁付近に焼土が確認できる。平面上では焼土付近に遺物が出土している状況が記録されているが、遺物の中にこの7号竪穴住居出土の遺物は確認できなかった。ピットが多く検出されているが、柱穴と考えられるものは無い。

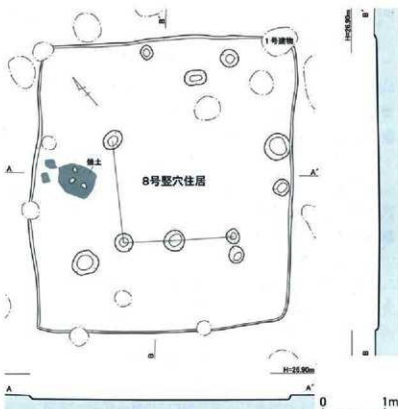
8号竪穴住居 [第13図 図版3] 2号溝状遺構北側で、7号竪穴住居の南側で検出され、1号建物に切られる。長辺4.7m、短辺4.1mの、北東-南西方向が長い方形のプランで、方位はN-42°-Eである。遺構検出面からの深さは約0.09mである。切り合いは無い。北西側の壁中央に焼土が確認でき、甕の口縁部片が出土している。出土遺物 [第15図 11~16 図版35] 11~12は土師器の甕で、11は胴部と口縁端部の境が

なく、外反しながら広がる。12は北西側の焼土から出土し、外反しながら口縁部が内側に延びる。13・14は弥生土器で、13は口縁部片。14は上げ底の甕の底部。15は須恵器の高台付きの椀だが、出土箇所は8号竪穴住居とあるが、出土した場所を示していると思われる番号が8号竪穴住居内に無く、切り合いのある1号建物にあるピットの番号(P-10)で、1号建物の出土である可能性が高い。16は土製模造鏡。



第12図 島田遺跡 7号竪穴住居 (SB07) 実測図 [1/60]

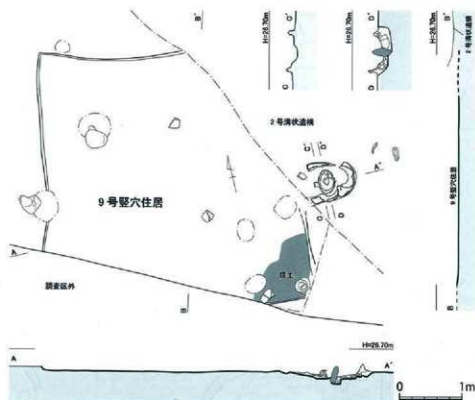
9号竪穴住居 [第14図 図版3] 調査区の北西側、10号竪穴住居の東側で検出され、調査時の平面図では北東側を2号溝状遺構で切られているようになっている。2号溝状遺構によって切られた範囲で検出された東側のカマドは、比較的状态もよく、支脚として用いられている石を確認できる。周辺の2号溝状遺構に未掘となっている範囲が多いが、新旧関係は9号竪穴住居の方が新しい可能性が高い。規模は長辺約4.7m、短辺約3.4m、検出面からの深さは約0.02m、方位はN-71°-Eである。また南東側コーナー付近にも焼土が確認できる。**出土遺物** [第15図17~23] 17~20は土師器で17は坏、19・20は南東コーナーの焼土中から出土し、19は壺で口縁部が基部で強く屈曲したのち頸部が強く外反しながら広がる。20は頸部を欠く。21・22は須恵器で、21は高坏の坏部。口縁端部でわずかに外反する。22は壺で頸部を欠くが、基部付近で接合痕が確認でき、内部に絞り痕も見られ、閉塞技法による成形、体部中位より上に1条の沈線。23は把手。



第13図 島田遺跡 8号竪穴住居 (SB08) 実測図 [1/60]

10号竪穴住居 [第16図 図版3] 当調査では2基の円形住居が見つかっており、いずれも調査区内の西側で検出されている。10号竪穴住居は西側を調査範囲の境界で切られ、北東側を2号溝状遺構で切られる。規模は最大幅6.5m、遺構検出面からの深さは0.24m、方位はN-38°-Eである。東側壁跡のさらに外側に、立て替え時のものと思われる壁

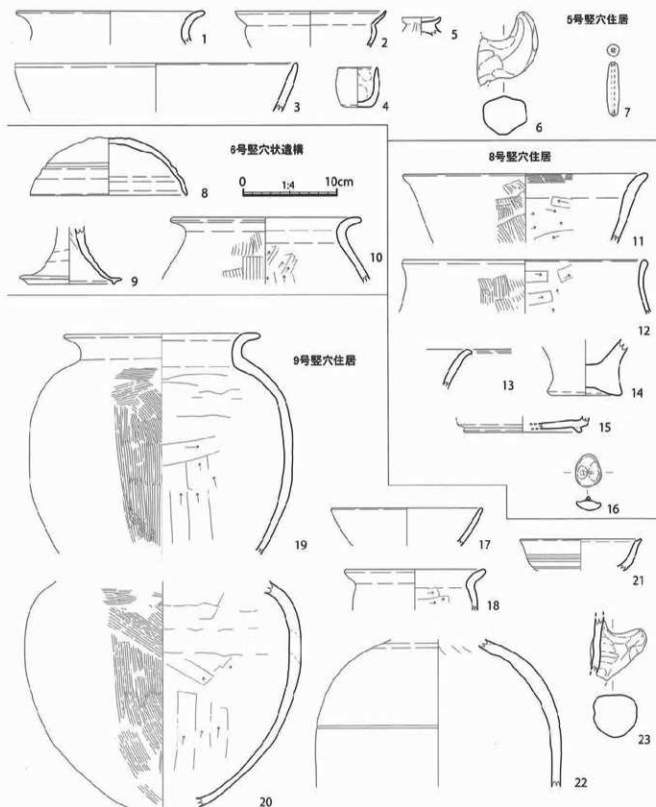
跡が検出されている。中央に土坑が確認でき、炉の可能性が考えられる。なお、この土坑の土層図には土色が記載されておらず、焼土等は確認することができない。柱穴は図面からの推測であるが、5か所以上確認でき、この想定通りとすれば、中央の炉に相当する土坑は中央よりやや東にずれているか、あるいは立て替え前の住居に属するものと考えられる。出土遺物[第17図 図版16・17] 1~21は弥生土器で、1~11は甕の胴上部~口縁部片で、あるいは口縁部のみである。そのうち1~3、8・9



第14図 島田遺跡 9号竪穴住居 (SB09) 実測図 [1/60]

は内傾接合で、1は口縁下に刻み目が付される突帯が1条施され、そこからやや上方に傾きを変えて直線的に広がる。口唇部に刻み目を付す。2はわずかに外反する口縁部に刻み目が付される。3は口縁下に刻み目が付される突帯が1条施され、その下から胴部が上方に傾き、口縁部で外反し、口唇部に刻み目が施される。8は口縁部下に刻み目が付される突帯が1条確認でき、口縁部は外反し、口唇部には刻み目が付される。9は中央の土坑から出土し、内傾する口縁部に刻み目が付される突帯が1条巡る。4~7、10・11は外傾接合で、4はほぼ直線的に広がる口縁部下に刻み目が付される突帯が施され、端部付近で外反し、口唇部に刻み目が付される。5はほぼ直線的に広がる口縁部下に刻み目が付される突帯が施され、口唇部に刻み目が付される。6はわずかに外反しながら窄まる口縁部に刻み目が付される突帯が施され、口縁下部に穿孔される。7は復元口径約31cmを測り、窄まる口縁部に刻み目を付する突帯が巡る。10は口縁部下と口唇部に刻み目が付される突帯が巡り、口縁部はわずかに内反しながら広がる。11はわずかに内反する口縁部に刻み目が付される突帯が施される。12~21は底部片で、12は調査区境界近くで出土し、平底で直線的に広がった底部側面には指押さえ痕、体内内面にハケ目が施される。13は底部上方で一度縮まり、そこから大きく開く。14は中央土坑南側で出土し、平底。15はわずかに上げ底状の底部で、内反気味に開く。16の底部は指押さえが残り、やや上げ底状で、一度底部上方で縮まった後、内反しながら開く。22-23は深鉢、24-27は土師器で、24は甕の口縁で外反しながら開く。25は口縁部が殆どくびれずごくわずかに広がる甕。26は中央土坑南側で出土した土師器の坏。27は素口縁の鉢。

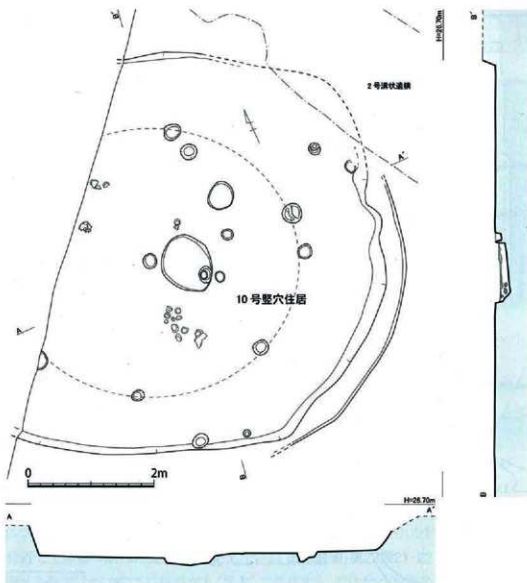
11号竪穴住居[第18図 図版3] 調査区が北東側で北側に突出する根元に位置し、北東側で12号竪穴住居を切るほか、2基の付番されていない竪穴状遺構を切る。一辺約4.0mの方形の竪穴住居で、方位はN-40°-W。柱穴を北西側で2箇所が確認でき、4本柱と考えられる。北西壁中央より少し西側コーナー寄りにカマドが設けられ土師器の甕(第23図4)が出土している。出土遺物[第23図1~5 図版17]すべて土師器で、1は坏の口縁部片で立ち上がりが内傾。2は甕の頸部から胴部で口縁部が丸く外反し、胴部が張る土師器の甕で胴部の外面は縦方向のハケ目のうち斜め方向のハケ目が残る。3は甕の口縁部片で、開く胴部が端部付近で外側に屈曲し、端部付近までハケ目が残る。



第15図 島田遺跡 5・8・9号竪穴住居、6号竪穴状遺構(SB05-06-08-09) 出土遺物実測図[1/4]

4・5は堯の口縁部から胴部にかけて。5は短い口縁部が外反し、胴部外面に縦方向ののちに横方向のハケ目が残る。

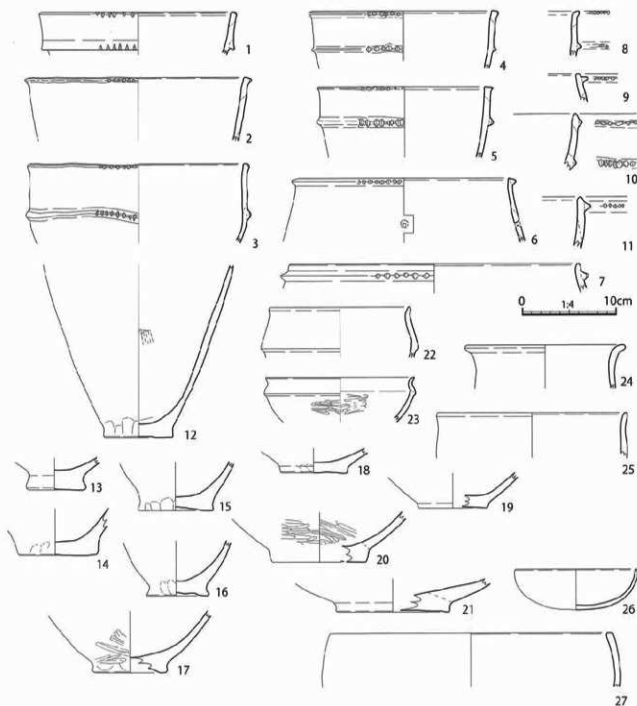
12号竪穴住居【第19図 図版3】調査区が北東側で北側に突出する根元部付近に位置し、11号竪穴住居に南側を切られ、11号竪穴住居内で確認できた竪穴状遺構を切り、7号竪穴住居に北側壁を、13号竪穴住居に北東コーナーを切られる。長辺6.1m、短辺約6.0mの4方形の竪穴住居で、方位はN-71°-E。東側壁に沿って溝が設けられている



第16図 烏田遺跡 10号竪穴住居(SB10) 実測図[1/60]

部分がある。北東側にピットが集中するが、柱穴と考えることができるものは見つからない。北側壁中央に見つかった焼土はカマドか。出土遺物[第23図6・7 図版17]いずれも覆土中からの出土で、6は立ち上がりが直線的に内傾する土師器の坏。7は高坏の脚裾部片。

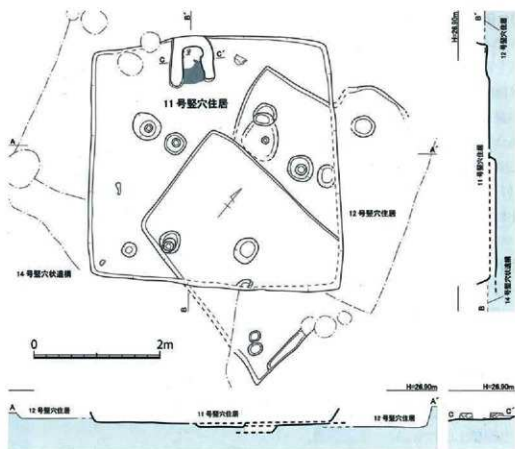
13号竪穴住居[第20図 図版3]少なくとも3基以上の遺構が切りあった状態で、調査時に13号竪穴住居とされたのがそのうちの一つの遺構に付番されたものなのか、これらの遺構すべてなのか分からない状態である。1) 11・12号竪穴住居に東側を切られる方形の遺構(南側壁は不明瞭)。2) その内側の東側壁付近に、カマドと西側壁(不明瞭)が検出されている遺構。カマド断面の土層図の土色は記録が無い。支柱石が確認できる。3) 1のカマドの北東側の焼土。である。いずれも柱穴と考えることのできるピットは無い。出土遺物[第23図8~17 図版17]遺構の説明でも述べたが、複数の遺構からの出土が混在していると思われる。8~10は土師器の坏で、9・10は内外面共に赤色顔料が塗布される。9は外面にミガキが施される。11は須恵器の坏身の口縁部片。12は南側のカマドから出土した土師器の高坏脚部片で、外面に赤色顔料が塗布され、裾部が屈曲し上方に向く、内面は脚部上方はケズリ、裾部付近はハケ目が施されたのちナデ。13は小型の甕の口縁から胴部にかけてで、胴部が張り、口縁部が屈曲して開く。14は口縁部片で強く外反しながら開く。15は甕の平底の底部片。16は弥生土器の甕か。17は須恵器の高坏の坏底部。



第17図 島田遺跡 10号竪穴住居(SB10) 出土遺物実測図[1/4]

14号竪穴状遺構[第21図] 調査区東側北寄りに位置し、20号竪穴住居に切られ、東側は未掘で、南側壁を確認した。規模は東西幅約6m程度と考えられる。東を13号竪穴住居に切られる。複数のピットが確認できるが性格は不明。
 出土遺物[第23図18~20 図版17-36] 18は坏蓋で天井部と口縁部を分ける稜線は殆ど確認出来ない。口縁部内面に段を持つ。19は土師器の坏で内外面に赤色顔料が施される。20は紡錘車で滑石製。

15号竪穴住居[第22図 図版4] 調査区中央のやや北西寄りに位置し、16号竪穴住居を切り、2号溝状遺構に北東側を切られる。おそらく一辺約2.9m程度の方形プランの竪穴住居と考えられるか。方位はN-27°-Eで、遺構検出面からの深さは約0.18mである。方位はN-27°-E。4本柱のうち、南西壁よりの2つの柱穴が確認できる。南西壁中央に

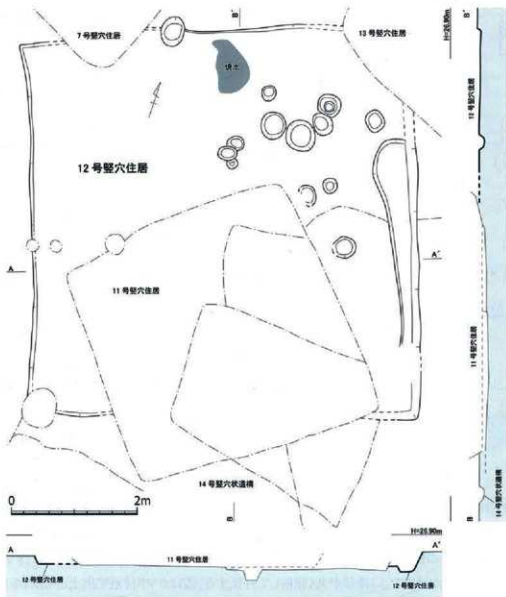


第18図 島田遺跡 11号竪穴住居(SB11) 実測図[1/60]

はカマドが設けられる。平面図からは、カマドの袖部は北東方向に向いており、南西側の壁とは垂直にならないように見えるが、カマド断面の土層図は袖部を捉えられておらず、本来のカマドの設置された状況を推し量るには不十分である。カマド付近で土師器の甑(第23図22)が出土している。出土遺物[第23図21・22 図版18]いずれも土師器で21は甑の口縁から胴部にかけてで、口縁部が丸く屈曲して外反する。22はカマド付近で出土した甑で口縁は直線的に広がち、底部中央に単体の円孔。

16号竪穴住居[第24図 図版4] 調査区中央からやや北東りに位置し、15号竪穴住居、2号溝状遺構に切られ、21号竪穴住居を切る。一辺約3.8m程度の方形プランの竪穴住居と考えられる。遺構検出面からの深さは約0.07m、方位はN-30°-Eと15号竪穴住居に近く、15号竪穴住居の立て替え前の遺構と考えられる。北西壁に沿って幅約60cm、深さ約10cm1段低くなっているが、これがすべての壁を巡っているかは確認できていない。北西壁中央にカマドが設けられる。出土遺物は無い。

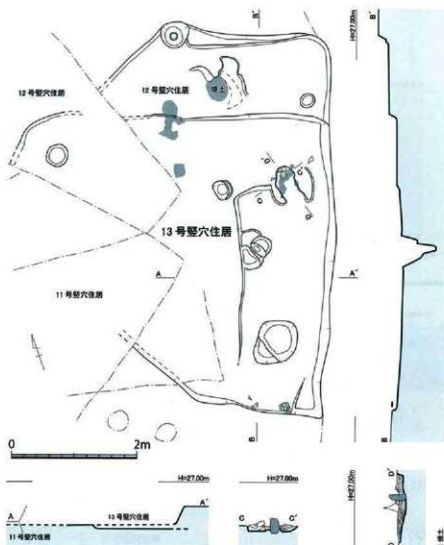
17号竪穴住居[第25図 図版4] 調査区東側中央付近に位置し、北側で20号竪穴住居を切る。長辺4.3m、短辺約3.4mのやや南西壁が長くいびつな方形の竪穴住居で、遺構検出面からの深さは約0.17mである。方位はN-37°-E。住居内の南東側、南西側及び北東側には一段低い箇所が確認できる。なお平面図から、調査区の東側に13-20-33号竪穴住居及び14-32号竪穴状遺構を切る北東から南西に延びる遺構が存在することが推測できるが、現地における調査において未掘となっている。この17号竪穴住居は、この東側の未掘の遺構を切っていると考えられる。南東壁南より見えるカマドについては、土層図に土色が記録されていないものの、平面図から17号竪穴住居の床面レベルに焼土が確認できることから、17号竪穴住居に設けられたものとして掲載するが、東側の未掘となっている範囲に検出されていない遺構がある可能性も捨てきれない。柱穴と考えられるピットは無い。出土遺物[第27図1~9 図版18]



第19図 島田遺跡 12号竪穴住居(SB12) 実測図[1/60]

1は須恵器の坏身。2-8は土師器。2-4・7はカマドの東側で出土し、2・3・4は坏。5は高坏の坏部で内外に赤色顔料がつく。6は小型の甕の口縁から胴部にかけてで、口縁は湾曲しながら広がり、胴部外面はハケ目をナデで消す。8は胴部と口縁の境が無く緩やかに開く。9は口縁下と口縁に2重に刻み目が施される突帯が巡る甕の口縁から胴部、口縁は下側の突帯から内側に屈曲した後、直線的に立つ。

18号竪穴住居[第26図 図版4] 調査区東側中央付近に位置し、2基の竪穴住居が切り合う状態で検出され(調査時に異なる遺構としては整理されていない)、西側に造られた竪穴住居から、主軸を東西方向にずれた形で東側の竪穴住居が切った状態で検出されている。西側の竪穴住居の規模は長軸約4.0m、短軸約3.7mで遺構検出面からの深さは0.19m、東側の竪穴住居は長軸約3.6m、短軸約3.2mで遺構検出面からの深さは0.11mである。主軸は西側の竪穴住居がN-60°-W、東側がN-10°-Eで約50°の角度がつく。である。西側の竪穴住居は19号竪穴住居を切り、東側の竪穴住居は20号竪穴住居を北東コーナーで切り、南側で33号竪穴住居を切る。西側と東側の竪穴住居は共に西側壁中央にカマドを設けている。東側の竪穴住居に設けられたカマドについては焼土の範囲のみ確認できている。西側のカマドでは高坏(第27図12)が出土している。西側の竪穴住居は土層図が存在するが、土色の記録が無い。平面図から、壁面に石製の支脚が見つかった。西側の竪穴住居の中央北東寄りのピットは柱穴か。出



第20図 島田遺跡 13号竪穴住居(SB13) 実測図[1/60]

土遺物[第27図 10~14 図版18]10は須恵器の坏身で、立ち上がりが高く内傾する。11~14は土師器で、11は口縁端部が外側に開く坏。12は西側の竪穴住居のカマドで出土した高坏の脚部。13は口縁部が屈曲した後強く外反しながら開く甕。14は胴部と口縁の境が無く緩やかに開く甕。

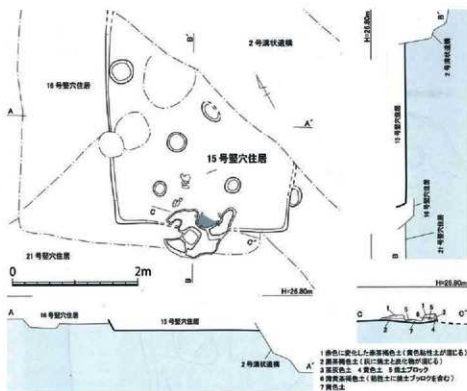
19号竪穴住居[第28図 図版4]調査区中央付近、2号溝状遺構より東側に位置し、18号竪穴住居に東側を切られ、2号溝状遺構に西側コーナーを切られる。主軸はN-29°-Eである。西側壁中央やや北寄りにカマドが設けられる。カマドは土層図に土色の記録などが無いため詳細は不明。平面図ではカマドの両袖の間に遺物の出土状況が記録されているが、遺物のほかに記録が無く、これも詳細は不明である。出土遺物[第31図1~5 図版18・19]いずれも出土状況の記録が無いが、



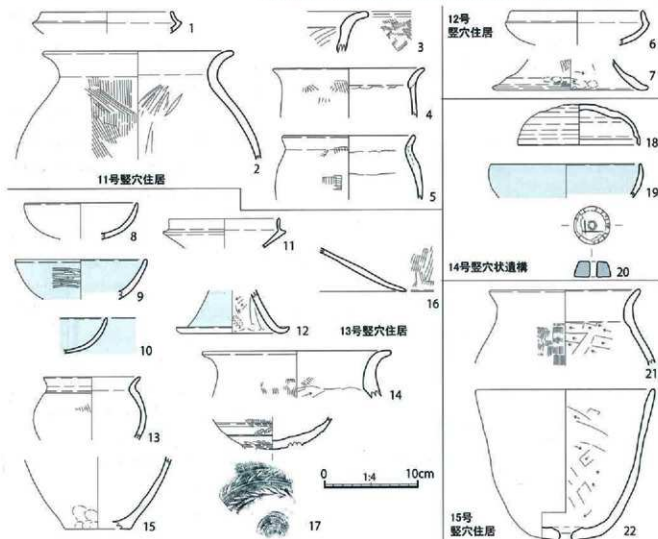
第21図 島田遺跡 14号竪穴状遺構(SB14) 実測図[1/60]

カマド周辺で多くの遺物の出土があったようである。1は須恵器の外高台付きの坏身。2-5は土師器で、2-4は坏、4は外側に赤色顔料が付く。5は把手で、断面は扁平で、先端が強く反る。

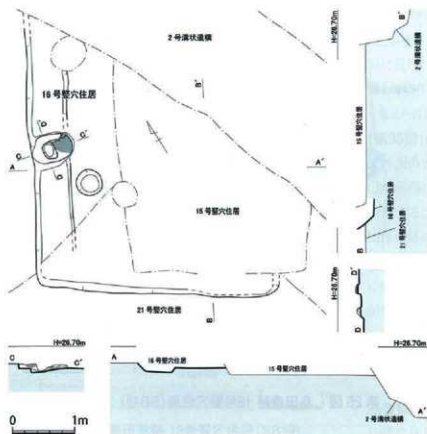
20号竪穴住居[第29図 図版 図版5] 東側が未掘の遺構に切られる方形の住居で、北側で14号竪穴状遺構、南西側コーナーで18号竪穴住居、南側壁寄りで17号竪穴住居に切られる。規模は南北幅約5.5m、方位はN-83°-W。



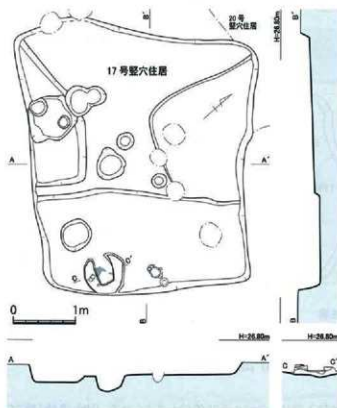
第22図 島田遺跡 15号竪穴住居(SB15) 実測図[1/60]



第23図 島田遺跡 11~13・15号竪穴住居、14号竪穴状遺構(SB11~15) 出土遺物実測図[1/4]



第24図 島田遺跡 16号竪穴住居(SB16) 実測図[1/60]



第25図 島田遺跡 17号竪穴住居(SB17) 実測図[1/60]

住居内で付番されていない竪穴状遺構のコーナーが検出されている。西側壁中央付近から少し東側にずれた形でカマドが設けられる。東側壁には壁隅が広がった方形の屋内土坑が検出されている。4本柱であったと考えられ、柱穴は北東を除く3箇所が確認できた。出土遺物[第31図6~12 図版19・36]6~8は須恵器で、6は蓋で、天井部に不定方向のケズリがある。ヘラ記号有り。7は口縁部から頸部にかけての薄片で、口縁端部が下方に屈曲する趣か。8はつまみ。9は土師器の甕の口縁から胴部にかけてで、口縁部が屈曲し湾曲しながら広がる。10は黒色土器(A類)の坏で内外共ミガキが入る。11は弥生土器で、内傾する口縁端部に刻み目の入る突帯が

巡る。12は滑石製の白玉。

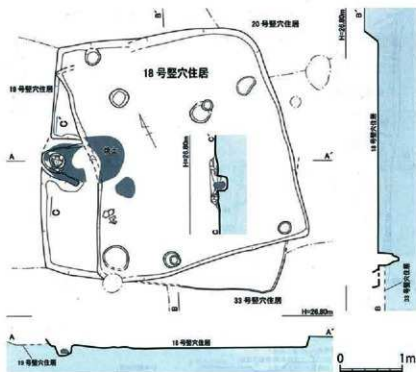
21号竪穴住居[第30図 図版5]調査区中央で、2号溝状遺構より西側に位置し、北東側を16号竪穴住居に切れ、西側を22・25号竪穴住居に切られる。規模は長辺5.1m、短辺4.5m、方位はN-2°-Wで南西コーナー付近がややひずんだ方形のプランを呈する。南側壁中央に屋内土坑が設けられる。出土遺物[第31図13]屋内土坑から出土した土師器の坏。

22号竪穴住居[第32図 図版5]調査区中央付近に位置し、西側を23号竪穴住居、北側を26号竪穴住居に切れ、プランは南東側コーナーしか確認できていない。カマドが確認でき、土師器の坏、高坏が出土している(第35図3・4)。カマドは東側壁から約80cmほど離れ、また袖部は東壁面垂直方向より南側に約30度傾いている。土層断面を確認すると、平面における検出状況と袖部の範囲はずれているようで、これは北側部分がベルトで未掘であったことも関係していると

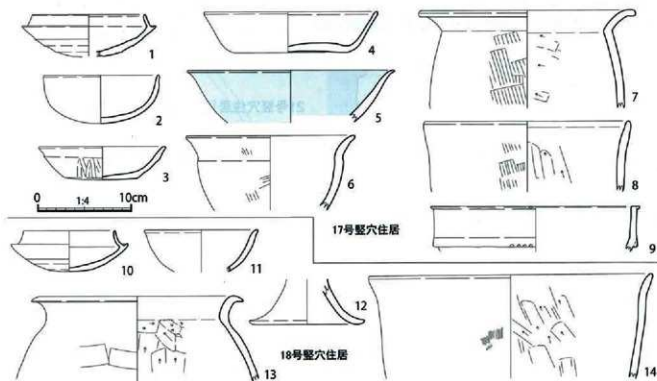
考えられ、袖部の壁面に対する傾きについては図面通りで無い可能性がある。カマドの南側には焼土が確認でき、甕(第35図2)が出土している。出土遺物[第35図1~7 図版19・35・36]1~4は土師器で、1・2は甕で1は口縁が屈曲し

外側に広がる。2は緩やかに湾曲して開く。3は坏。4は高坏の脚部部片で外面に赤色顔料が付く。5は甕のレンズ状の底部片で内外共に赤色顔料が付く。6は土製紡錘車。7は石英斑岩製の砥石。

23号竪穴住居[第33図 図版5] 22号竪穴住居を切る。北東側で26号竪穴住居を切り、西側で37号竪穴状遺構を切る。1基の竪穴住居として検出されているが、おそらく、2基の竪穴住居が切り合っていたようである。北側中央のカマドには北側壁中央にカマドを設ける側を新しいとすると、古くに建てられていた側は反時計回りに約5度ほどずれた形と考えられるか。柱穴となるピ



第26図 島田遺跡 18号竪穴住居 (SB18) 実測図[1/60]



第27図 島田遺跡 17・18号竪穴住居 (SB17・18) 出土遺物実測図[1/4]

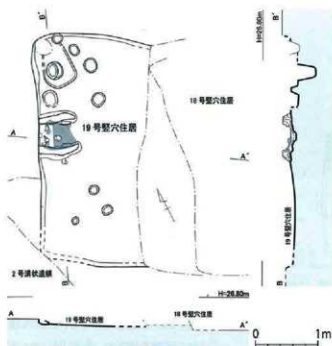
ットが検出されているが、いくつかは重複する、あるいは立て替え前のものである可能性も考えられる。出土遺物[第35図8-9 図版19]いずれも土師器で8は坏。9は甕の把手で、断面は丸い。

24号竪穴住居[第34図 図版5] 調査区中央から北西寄りに位置し、長辺4.7m、短辺4.6m、方位はN-70°-Eで、遺構検出面からの深さは約0.15mの方形プランを呈する竪穴住居である。北側で36号竪穴住居を切る。東側で26号竪

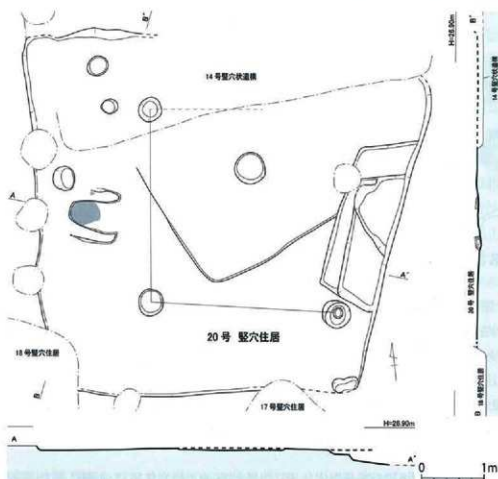
穴住居を切っており、東側壁に確認できる焼土は26号竪穴住居のカマドか。多くの遺構が切りあっており、個別の遺構の範囲が確認できていない状態で検出作業がなされている。北側壁中央付近東寄りにカマドが設けられる。南東

側に見られる落ち込みも屋内土坑では無く、周辺の遺構との切り合いがあった可能性が高い。柱穴は4本柱と考えられるが北東側で見つかっていない。出土遺物【第35図10~20 図版19~35】10~12は須恵器で、10は外面の天井部と口縁部の境に稜線が走り、内面の口縁端部に段をもつ坏蓋。11は坏身で立ち上がりが内傾する。12は高坏の脚部。13~17・19は土師器で、12は高坏の脚部の裾部片。14は立ち上がりのある坏。15~17は甕で、15は口縁が屈曲し、外反しながら開く。15は口縁部が丸く屈曲して開く。17は胴部と口縁の境が無く緩やかに開く。18は内黒の黒色土器で外面にミガキが施される。19は土師器の把手部。20は土製模造鏡。

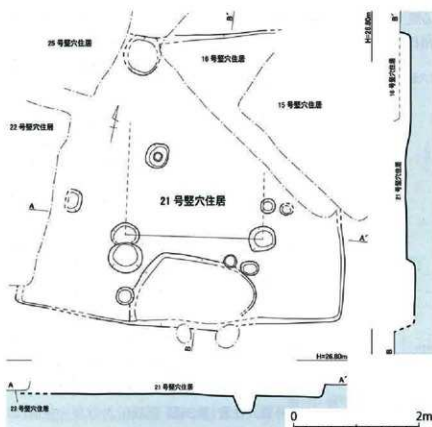
25号竪穴住居【第36図 図版6】21号竪穴住居、22号竪穴住居を切り、西側で26号竪穴住居に切られる。さらに不明瞭だが1号不明遺構にも切られているよう



第28図 島田遺跡 19号竪穴住居 (SB19) 実測図 [1/60]



第29図 島田遺跡 20号竪穴住居 (SB20) 実測図 [1/60]



第30図 島田遺跡 21号竪穴住居 (SB21) 実測図 [1/60]

である。北側に焚き口を東に向けているカマドが検出されているが、この25号竪穴住居に設けられたものであるかは不明。土層図には土色の記録がない。床面には南北に溝状に深くなる箇所があるが、住居外では検出できず、性格は不明。出土遺物[第40図1 図版19]丸く屈曲して開く土師器の甕の口縁部片。

26号竪穴住居[第37図 図版6]現地にて作成された平面図で見る限り、26号竪穴住居の記載がある範囲は著しく不明瞭で、少なくとも3基の竪穴状の遺構が切りあっている。それぞれの遺構は、1)24号竪穴住居に西側を切られ、北側壁にカマドを設け、1号不明遺構に切られるもの。2)南側を1号不明遺構に切られ



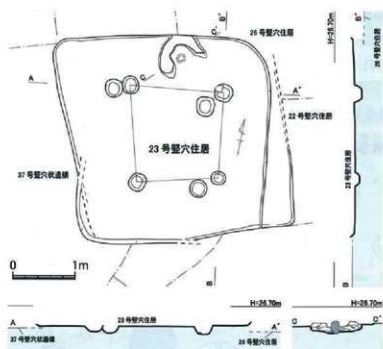
第31図 島田遺跡 19・20・21号竪穴住居 (SB19・20・21) 出土遺物実測図 [1/4]

るもの。3)22号竪穴住居を切り、23・24号竪穴住居に西側を切られ、北側を1号不明遺構に切られるもの。となっている。北側にカマドを設ける1は竪穴住居である可能性が比較的高いと考えられるものの、ほかの2基の遺構に関しては性格は不明である。1号不明遺構は当初26号竪穴住居の屋内土坑として整理されていたようであり、両遺構間での遺物の混入に注意が必要である。出土遺物[第40図2~5]4がカマドからの出土で、その他の遺物は南側の遺構の覆土中の遺物との記録がある。いずれも土師器で2は坏の口縁部片。3は弱く屈曲する口縁部の甕。4はカマドから出土した、丸く屈曲して開く口縁部の甕。5は上部が扁平な甕の把手。

27号竪穴住居[第38図 図版6]24・26号竪穴住居に南側を切られる竪穴住居で、北側は調査区境界によって切られているが、おそらく方形プランの竪穴住居と考えられる。柱穴と考えられるピットは無い。北側壁の、やや西寄りにカマ



第32図 鳥田遺跡 22号竪穴住居 (SB22) 実測図 [1/60]



第33図 鳥田遺跡 23号竪穴住居 (SB23) 実測図 [1/60]

ドが設けられる。カマドの土層断面に土色の記載は無く詳細は不明。出土遺物[第40図6~15 図版19~35]6はカマドから出土した立ち上がりのある土師器の坏。7は手捏ね土器。8~11は土製模造鏡で、8は鏡端部に穿孔痕が残る。12~15は玉状土製品。

28号竪穴住居[第39図 図版6]調査区の中央付近に位置し、29号竪穴住居を切る。南西~北東方向が長く、長さ3.7m、短辺2.8mで、南側コーナーが丸く張り出す不定形な方形プランの竪穴

住居で、遺構検出面からの深さは0.03m。主軸はN41°-Eで、北西壁中央にカマドを設ける。柱穴と考えられるピットは無い。カマド内で須恵器の高坏が箆せになった状態で出土し、支脚として用いたものか。カマドの土層断面には土色の記載が無く詳細は分らないが、袖部はやや東側にずれる可能性がある。出土遺物[第40図16~26 図版20~35]16~17は須恵器で、16は重みの大きな蓋坏。17はカマドの内部で坏部を下にした状態で出土しており、支脚として用いられていた可能性のある高坏。全体的に摩滅が著しい。18~24は土師器で、18は坏で、天井部に不定方向のケズリ。19は内外共に赤色顔料が施される土師器の坏。20は脚部外面に縦方向のケズリの後コナデが顕著な高坏の坏部過半から脚部片。21は短い口縁部が外反する甕。22は口縁部が緩や

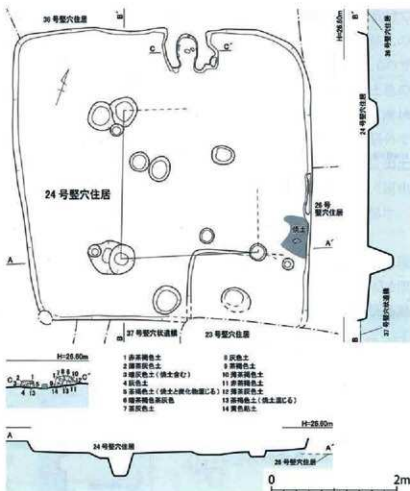
かに開く土師器の甕。23は強く湾曲して開く口縁を持つ土師器の壺。24は筒抜けの底部の甕。25~26は手捏ね土器で、26は支脚を模したものか。

29号竪穴住居[第39図 図版6]調査区には中央に位置し、28号竪穴住居に西側を切られ、隅丸方形プランの竪穴住居で、柱穴となるピットは無い。出土遺物[第40図27 図版20]小さな口縁部が強く湾曲して開く甕の口縁部片。

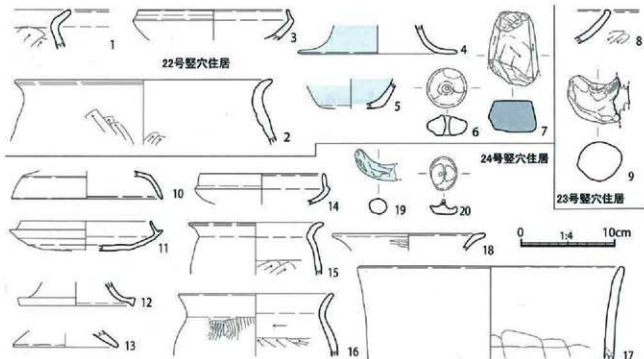
30号竪穴住居[第41図 図版6~7]調査区の西側端中央に位置し、10号竪穴住居と共に円形のプランの竪穴住居である。最大径約8.0m、最小径7.1mである。切り合いは無い。平面図では中央に土坑があるが、土層図に土色の記

載が無く、炉であるかどうかは不明。南東寄りに焼土が確認できる。東側に外側を巡る壁面の一部が確認でき、立て替えが行われた可能性がある。柱穴は6箇所確認できるが、その内部に北北東-南南西方向に別の柱穴と考えられるピットが確認できる。

出土遺物 [第42図 図版20・21・36] 出土遺物の器壁の継ぎ目が見えるものはすべて外傾接合である。1は南東側の柱穴間で出土し、口縁部と口縁部下に刻み目が施される突帯が巡り、下の突帯のところで屈曲した口縁が内傾して窄まる甕の、口縁から胴部の一部。2は口縁部が直線的に内傾し、端部に刻み目が施される甕の口縁部片。3は刻み目突帯が施される口縁部の小片。4は内傾する口縁部に刻み目突帯が施される口縁部片で、内部に指押さえ痕が残る。5は口縁端部と口縁部下に刻み目が施される突帯が巡る甕で、口縁は緩やかに湾曲しながら内傾する。6は浅鉢の口縁部片で、体部上半で屈曲して内傾し、口縁部端でくの字に



第34図 島田遺跡 24号竪穴住居 (SB24) 実測図 [1/60]



第35図 島田遺跡 22・23・24号竪穴住居 (SB22-23-24) 出土遺物実測図 [1/4]



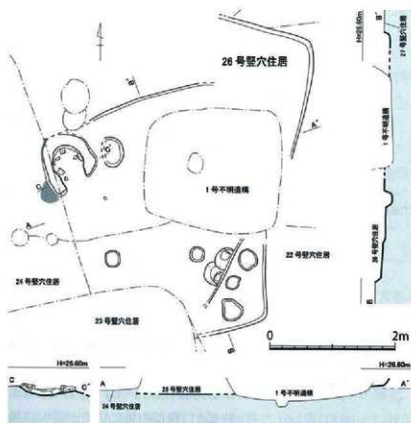
第36図 島田遺跡 25号竪穴住居 (SB25) 実測図 [1/60]

屈曲する。7は胴部の刻目突帯で屈曲した口縁が外反しながら内傾し、口縁端部に刻目が施される甕の口縁部の小片。8は胴部と口縁部の境がなく内反しながら上方に向く口縁が、端部で屈曲して刻目が施される甕。9は南東側の柱穴間で出土し、胴部が緩やかに内反しながら内傾し、屈曲して開く口縁の端部に刻目が施される甕。10-13は壺で、10は頸部片で外面にミガキが施され、窄まった頸部が端部近くで湾曲し、外反する付近に段が付き、その下に沈線が巡る。11・12は南東側の柱穴間で出土し、11は頸部片で、10と同様外面にミガキが施され、窄まった頸部が湾曲して外反する付近で段が付く。12は壺で、窄まった頸部が端部付近で湾曲し、外反するが10・11のように段は付かない。13・14は中央土坑と南東側の焼土との間で出土し、頸部と胴部の境界に段が付き、胴部外面にミガキが施される平底の壺。14は底部片。15・16は平底の底部片。17は壺の底部か。18-21は、円盤上の粘土を貼り付けた平底の底部片。23は甕の底部で中央に穿孔。24は浅鉢の口縁部から体部にかけての一部、25は土師器の短頸壺。26はミニチュア土器。27は石英斑岩製の石斧。

31号竪穴住居 [第43図 図版7] 調査区中央より南東寄りに位置し、2号溝状遺構に中央を切られる長辺約3.3m、短辺約2.8m

の方形の竪穴住居で、方位はN-90°-Eである。北東コーナー付近にカマドが設けられている。土層断面図に土色等の記載が残されておらず詳細は不明。出土遺物 [第45図1 図版21] 櫛描き波状文が施される甕の口縁部片。

32号竪穴状遺構 [第44図 図版7] 調査区東側中央よりやや南側に位置し、長辺約3.0m、短辺約2.5mのいびつな隅丸方形で、33号竪穴住居を切り、南西コーナーで2号溝状遺構を切る。方位はN-12°-Eで、遺構検出面からの深さは0.03m。平面図では北東側コーナーに土器の出土が確認できるが、出土遺物の記録では西側や南側と記録があり、出土した遺構の記録に錯誤がある可能性がある。



第37図 島田遺跡 26号竪穴住居 (SB26) 実測図 [1/60]



第38図 島田遺跡 27号竪穴住居 (SB27) 実測図 [1/60]

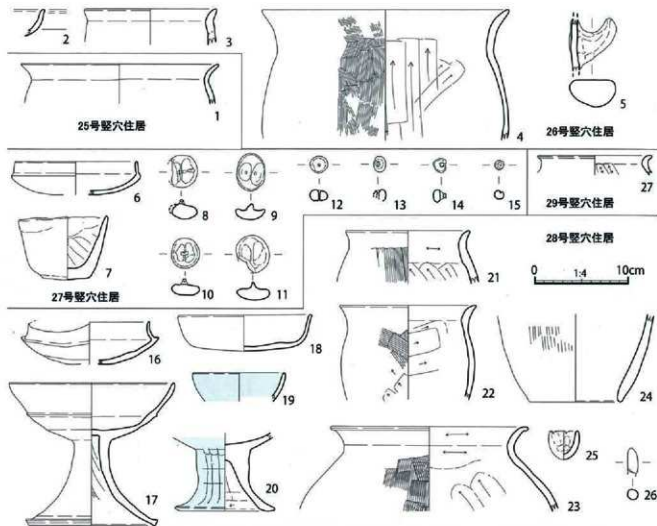
出土遺物[第45図 図版 21・22・36]2・3は須恵器の坏蓋で、2は西側トレンチとの記載があり、西側の2号溝状遺構の土層断面記録のためのトレンチから出土が混在している可能性がある。3は天井部と口縁の境に稜線が巡り、内部口縁端に段が付く。4は須恵器の坏身で、内傾する立ち上がり角が直線的に立ち上がる。ヘラ記号有り。5は南側トレンチ出土との記載があるが、該当する箇所は無い、穿まった頸部が端部で湾曲して開く弥生土器の壺の頸部片。6・7は西側トレンチとの記載があり、2と同様2号溝状遺構からの出土を考えるべきであろう。6は土師器の高坏

の坏部片で内外に赤色顔料が付く。7は土師器の脚部片で、外面に赤色顔料が付く。8は砥石。



第39図 島田遺跡 28・29号竪穴住居 (SB28-29) 実測図 [1/60]

33号竪穴住居[第44図 図版7]現地で記録された平面図や写真からは遺構の範囲を把握することが困難な遺構である。32号竪穴住居を囲む形で検出された遺構の中に複数遺構が切り合っていると考えらる。全体では長軸6.5m、短軸4.3mの南北に長い遺構として記録されており、方位はN-14°-Eで、柱穴と考えられるピット等は見つからない。北側にカマドとされる遺構、西側壁中央よりやや北より近くに焼土が平面図上の記録に残されているが、土層図に土色の記載が無く詳細は不明。出土遺物[第46図 図版22]出土遺物の中で、記録から出土状況のわかるものは無い。1~4は須恵器で、1は天井部と口縁部の境に稜線が巡り、口縁端部に段の付く蓋坏。2は小型の高坏の

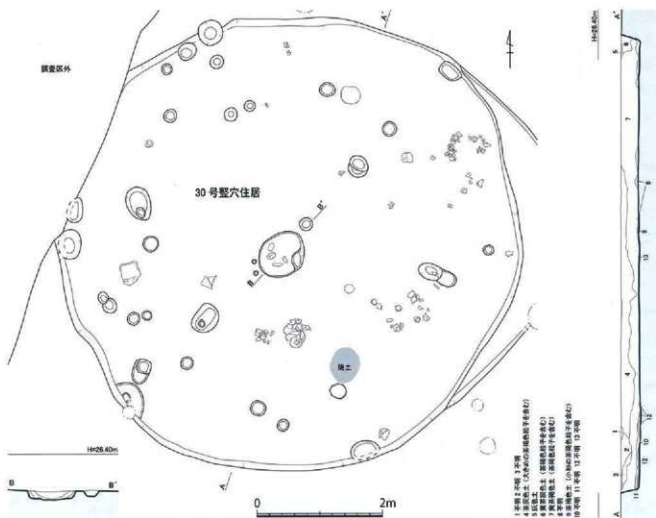


第40図 島田遺跡 25・26・27・28・29号竪穴住居 (SB25・26・27・28・29) 出土遺物実測図[1/4]

坏部片。3は長頸壺の頸部片。4は甕の口縁部片。5~14土師器で、5・6は立ち上がりのある坏。8は屈曲して外反して開く小型の甕の口縁部から胴部片。9は湾曲して開く壺の口縁部。10は屈曲して開く甕の口縁部。11は弱く湾曲して開く口縁部の甕の口縁部から胴部片。12は高坏の坏部片で、内外共に赤色顔料が付く。13は高坏の脚部片で、外面に赤色顔料が付く。14はカマドの北東側から出土した甕の把手。

34号竪穴状遺構 [第47図 図版7] 2号溝状遺構を切り、東側を調査区境界に切られる南北方向2.7mの遺構で、方位はN-14°-E。調査時にカマドとして北側の焼土を検出しているものの、詳細は不明。焼土中から土師器の甕の口縁部片の出土あり。**出土遺物** [第50図1 図版22] 北側焼土から出土し、口縁部と胴部の境が無く直線的に開く甕の口縁部片。

35号竪穴住居 [第48図 図版7・8] 長辺約4.9m、短辺約4.8mの方形のプランで、検出面からの深さは約0.23m、方位はN-41°-Eである。柱穴が4箇所確認できている。北西壁中央にカマドが設けられ、中央に石製の支脚が見つっている。カマドに向かって右側にも焼土が確認できる。**出土遺物** [第50図2~12 図版 図版22・23] 2~7は須恵器で、2は蓋で天井部と口縁部の境に稜があり、口縁端部に段がある。3~5は坏蓋で、いずれも天井部と口縁部の境に稜がある。3はヘラ記号あり。6は坏身。7はカマドからの出土で高坏の脚部。8は土師器の坏の口縁部片。9は立ち上がりのある黒色土器A類の坏。10~12は土師器で、10は弱く湾曲した口縁部がほぼ直立的な甕の口縁部から体部片。11は口縁部と体部の境が無く湾曲して開く甕の口縁部片。12は把手。



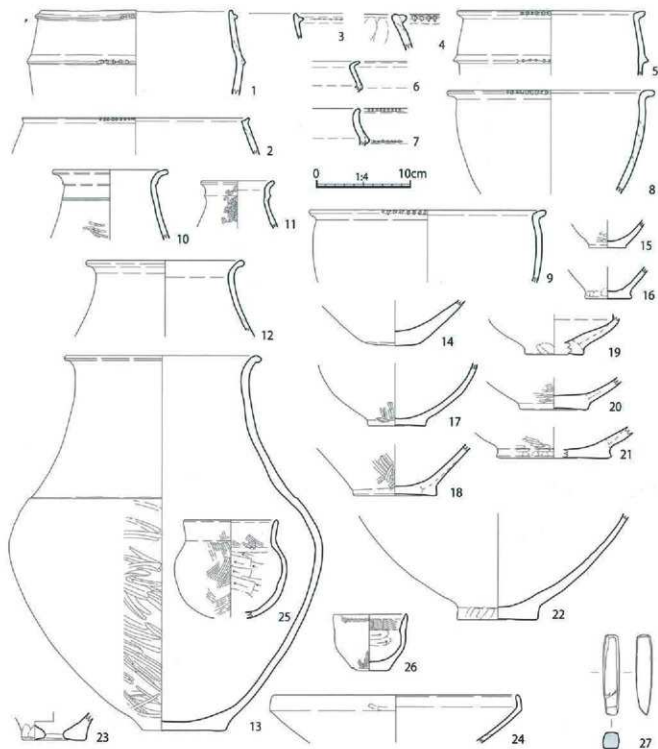
第41図 島田遺跡 30号竪穴住居(SB30) 実測図[1/60]

36号竪穴住居[第49図 図版8]2号建物に切られ、南側を24・27号竪穴住居に切られる北側壁の長さ約5.2m、遺構検出面からの深さは0.2mの方形プランの竪穴住居で、北西壁中央にカマドを設ける。カマドの両側に柱穴が設けられていると考えられる。出土遺物[第50図13~15 図版23]いずれも明確な出土箇所の記録はない。13・14は須恵器で、13は坏蓋、14は坏身の口縁部の小片。15は把手か。

37号竪穴状遺構[第51図 図版8]3号溝状遺構を切り、23・24号竪穴住居に切られる遺構で、南西コーナーのみ確認できる。切り合っている38号竪穴状遺構との前後関係は不明。遺物の出土は無い。

38号竪穴状遺構[第51図 図版8]23号竪穴住居に切られ、37号竪穴状遺構と切り合っているが前後関係は不明。遺物の出土は無い。

39号竪穴住居[第52図 図版8]40・41・69号竪穴住居を切る方形プランの竪穴住居で、柱穴となるピットを3箇所確認できているが、南東側では確認できていない。北側壁中央にカマドが設けられる。出土遺物[第54図1~6]1~4は須恵器で、1・2は坏蓋。1はカマドからの出土で、天井部と口縁部との境に後が巡る。2は口縁部片で、口縁端部付近で内側に屈曲する。3はカマド西側から出土した高坏の坏部で、2条の沈線が巡る。4は短頸壺の口縁から胴部にかけて。5・6は土師器で、5はカマド東側から出土し、口縁が屈曲して直線的に開く。6は把手で外面に赤色顔料が付



第42図 島田遺跡 30号竪穴住居(SB30) 出土遺物実測図[1/4]

く。

40号竪穴住居[第53図 図版8]42号竪穴住居を切り、39号竪穴住居に切られ、41号竪穴住居と切り合っているが、前後関係は図面・写真からはわからなかった。西側だけ確認できているが、おそらく方形プランの竪穴住居と考えられ、柱穴と考えられるピットが西側に2箇所確認できている。北側壁中央にカマドが設けられている。出土遺物[第54図7・8 図版24]いずれも土師器で、7は内外に赤色顔料の付く杯。8は高杯の杯部で、内面に赤色顔料が付く。



第43図 鳥田遺跡 31号竪穴住居(SB31) 実測図[1/60]



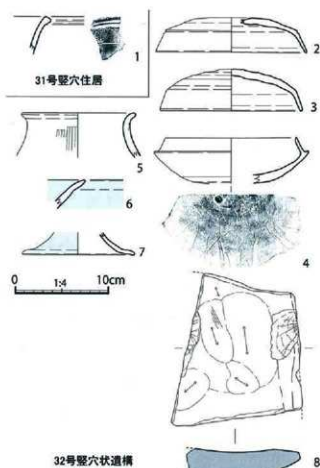
第44図 鳥田遺跡 32号竪穴状遺構、33号竪穴住居(SB32-33) 実測図[1/60]

41号竪穴住居[第53図 図版8・9]42号竪穴住居を切り、28・39号竪穴住居に切られる。40号竪穴住居と切り合っているが、前後関係は図面・写真からはわからなかった。北側コーナーのみ残存し、北西側壁にカマドが設けられる。柱穴に相当するピットは見つかっていない。出土遺物[第54図9-26 図版23・24]9-13は須恵器で、9-12は坏蓋で、9は口縁が内側に入り込む。10はカマド東側から出土し、天井部と口縁部の境に稜が付き、口縁部内側に段がつく。13はカマドから出土した透かし付きの高坏の脚部で、透かしの入る方向は中心に向かわない。14-24は土師器で、14-16は坏の口縁部片でいずれもミガキが施される。14・15は立ち上がりが付き、14は立ち上がりが内傾する。17はカマド東側から出土し、短頸壺の頸部から胴部にかけて。18は高坏の坏部。19は口縁が強く屈曲して開く甕。20・21は口縁部が強く屈曲し、外反しながら開く甕。22・23は口縁が緩やかに湾曲し開く甕。23は40号竪穴住居と切り合っている箇所からの出土で、いずれの遺構からの出土かが曖昧であり、注意を要する。24は胴部と口縁部の境が無く直線的

にわずかに開く甕。25はカマド東側から出土した頸部が直線的に開く長頸壺の頸部から胴部にかけてで、胴部外面にはミガキが施され、胴部内面には粘土積み上げ痕がそのまま残る。26は把手。

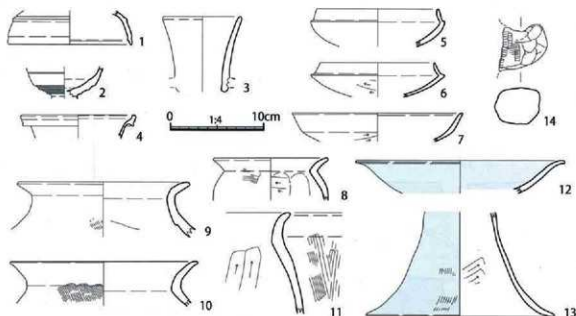
42号竪穴住居[第55図 図版9]28・40・41号竪穴住居に南側を切られる方形プランの竪穴住居で、柱穴となるピットが3箇所確認できている。南西側で柱穴は確認できていない。北側壁中央にカマドが設けられる。カマドは石製の支脚が確認できている。出土遺物[第56図 図版24・25・26]カマドからの出土は10・15・19・32・34・35・39。1-17は須恵器で、1-6は

坏蓋。いずれも天井部と口縁部の境に稜があり、口縁端部内側に段が付く。7はつまみ。8~16は坏身で、いずれも立ち上がりが付く。8は西側柱穴の南側から出土。10はヘラ記号あり。12は西側の柱穴の東側からの出土。13は西側の柱穴中から出土。15は北側コーナー付近から出土。16は西側柱穴の南西そばからの出土。17は碗の体部片。18~42は土師器で、18~20は高坏。18は内外に赤色顔料が施される坏部片。19は脚部から碗部の一部で脚部外面にミガキが施される。20は西側柱穴東側から出土し、坏部に立ち上がりがある高坏か。21~27は坏で、うち22・23は西側コーナー付近からの出土。24は西側柱穴の西側で出土。23~26はミガキが施される。28は高坏の坏部片で、内外に赤色顔料が施される。29はカマドの西側から出土し、壺の胴部下半の一部。30~36は甕。うち31はカマドの西側からの出土。33はカマド手前からの出土。36は西側柱穴の南側からの出土。37は口縁部が強く湾曲して開く壺の頸部から体部にかけて。38・39は甕。40~42は甕の把手。



第45図 島田遺跡 31号竪穴住居、32号竪穴住居(SB31・32) 出土遺物実測図 [1/4]

43号竪穴状遺構[第57図 図版9]不定型なプランを呈する遺構で、2号溝状遺構に切られる。北側にカマドとして検出されている遺構について、断面には土色などの記録は無く、詳細は不明である。出土遺物[第61図1~5 図版26~35]1は立ち上がり付き、内外にミガキが施される土師器の坏。2は土師器の坏で器壁が厚い。3は平底の弥生土器の底部片。4は弥生土器でレンズ状を呈する底部。5は土錘。



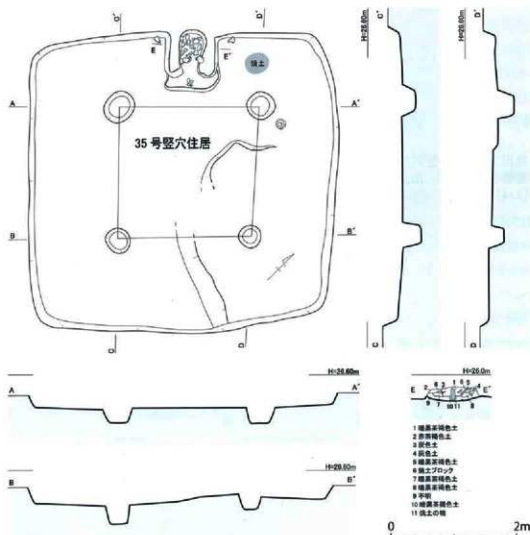
第46図 島田遺跡 33号竪穴住居(SB33) 出土遺物実測図 [1/4]



第 47 図 島田遺跡
34号竪穴状遺構 (SB34)
実測図 [1/60]

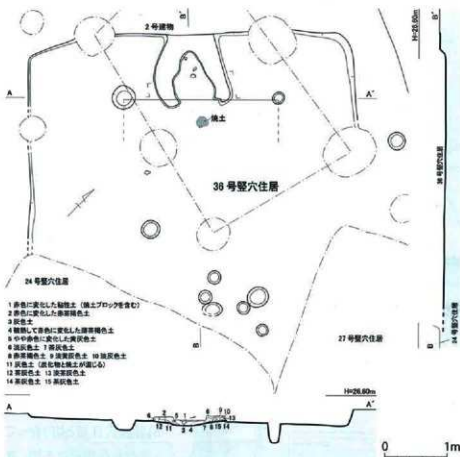
44号竪穴状遺構[第58図 図版9]3号建物に切られる方形のプランを呈する竪穴状遺構で、付番されていない西側の竪穴状遺構を切る。また67号竪穴住居を南西側で切る。調査時には北東コーナー付近で3号建物に切られる形で焼土付近をカマドとして検出している。3号建物検出時のベルトを残したまま完掘されておらず、土色等の記録も残っていない。カマドの袖部と結論づけるには注意が必要な状況である。中央南東寄りにも焼土が確認されている。出土遺物[第61図6~9 図版26]出土箇所に分かる記録は無い。6・7は須恵器の坏蓋で、6は天井部と口縁部の境に稜があり、口縁部内側に段が付く。7は口縁部内側に段が付くが、天井部と口縁部を分ける稜線は無くなっている。8は土師器の高坏の坏部片。9は口縁部が湾曲して開く土師器の甕。

45号竪穴住居[第59図 図版9]46号竪穴住居に東側を切られる方形プランを呈する竪穴住居で、柱穴等は見つかっていない。46号竪穴住居検出時にカマドが見つかっている。北側に不定形の遺構が検出されているが、性格は不明。出土遺物[第61図10・11 図版26・35]10はカマド内か



第 48 図 島田遺跡 35号竪穴住居 (SB35) 実測図 [1/60]

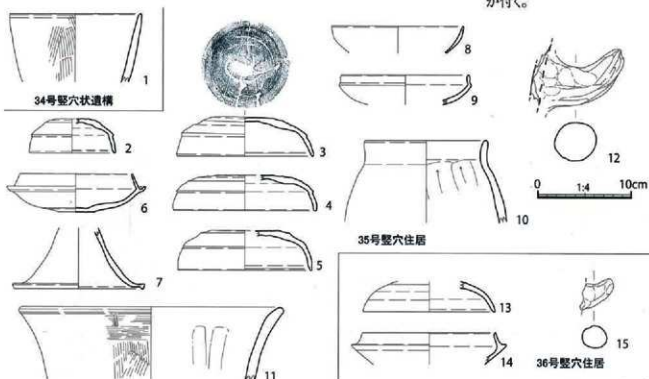
らの出土で、高坏脚部の裾部片で、外面に赤色顔料が付く。11は玉状土製品。



第49図 島田遺跡 36号竖穴住居 (SB36) 実測図 [1/60]

46号竖穴住居 [第60図 図版10] 方形プランを呈する竖穴住居で、45号竖穴住居、49号竖穴状遺構を切る。柱穴等も確認されていない。方位はN-85°-W。出土遺物 [61図 12~14 図版26] 12・13は須恵器で、12はかえりの付く蓋。13は立ち上がりのある坏身の口縁部片。14は口縁部が屈曲し外反しながら開く土師器の甕の口縁部片。

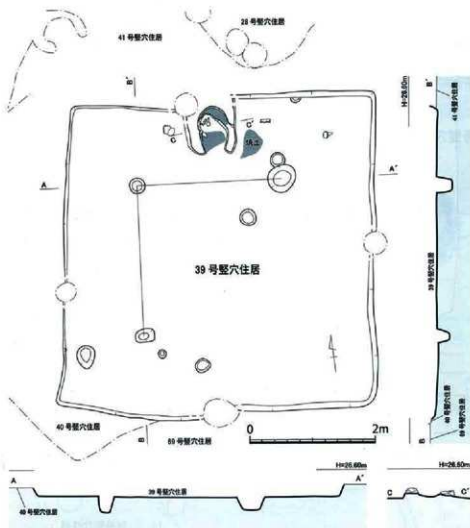
49号竖穴状遺構 [第62図 図版10] 北側を46号竖穴住居に切られる不定形なプランを呈する遺構で、柱穴等も確認されていない。出土遺物 [第63図 図版26] 須恵器の坏蓋で天井部と口縁部の境に稜線が巡り、口縁部内面に段が付く。



第50図 島田遺跡 34号竖穴状遺構、35・36号竖穴住居 (SB34-35-36) 出土遺物実測図 [1/4]



第51図 島田遺跡 37・38号竪穴状遺構(SB37-38) 実測図 [1/60]



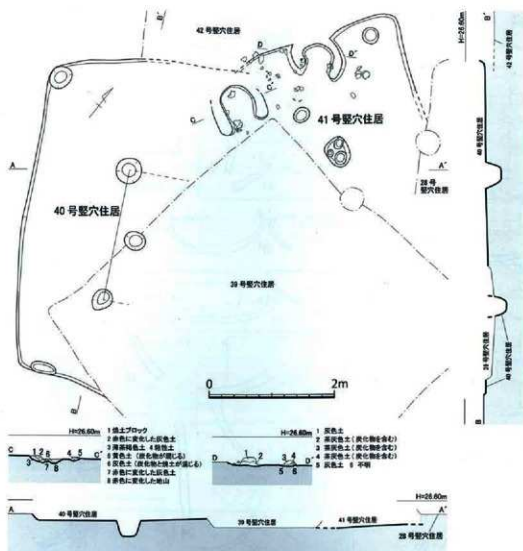
第52図 島田遺跡 39号竪穴住居(SB39) 実測図 [1/60]

50号竪穴住居[第64図 図版10]51号竪穴住居、52-53号竪穴状遺構を切る東西に長い方形プランの竪穴住居で、西側壁中央にカマドを設ける。柱穴となるピットは確認できていない。出土遺物[第69図1~5 図版26-27]記録に出土状況が分かる物は無い。いずれも須恵器で、1~4は坯蓋で、1は天井部と口縁部の境の稜が曖昧になりつつある。4はかえりが付く。5は高坯の坯部で5条の沈線が巡る。

51号竪穴住居[第65図 図版10]50号竪穴住居に切られる胴張り気味な方形プランの竪穴住居で、方位はN-76°-W。西側壁中央付近にある焼土をカマドとしているが、未掘のままで詳細は不明。出土遺物[第69図6 図版27]須恵器の口縁部片。

52号竪穴状遺構[第66図 図版10]50号竪穴住居、53号竪穴状遺構に切られ、51号竪穴住居と切り合っているが前後関係は不明。遺構の範囲が曖昧で、少なくとも2基の遺構が確認でき、北側の遺構が南側の遺構を切っている。北側にカマドとして検出された遺構がある。土層図には土色などの記録が無く、詳細は不明である。袖部の検出状況も含め、この遺構に設けられたものか、あるいは切り合っている他の遺構に付随するものか注意が必要と考えられる。

出土遺物[第69図 7~15 図版27-28]9・10以外はすべてカマドとされる遺構からの出土である。7は口縁端部がくの字型に下を向き、天井部が膨らみを持つ須恵器

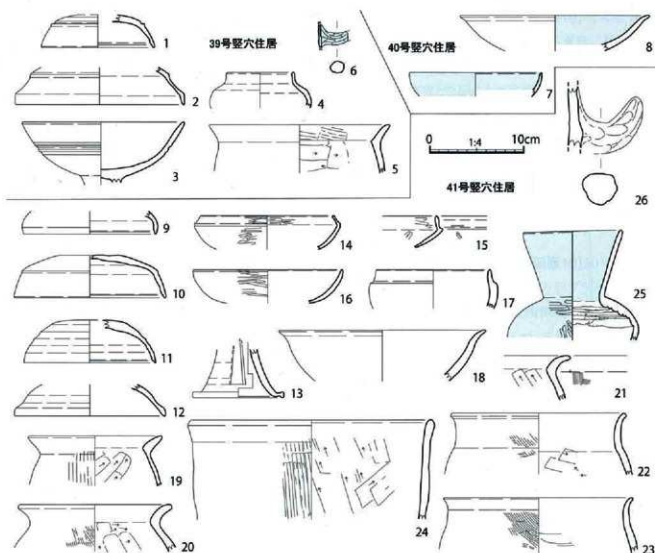


第 53 図 島田遺跡 40・41号竪穴住居 (SB40-41) 実測図 [1/60]

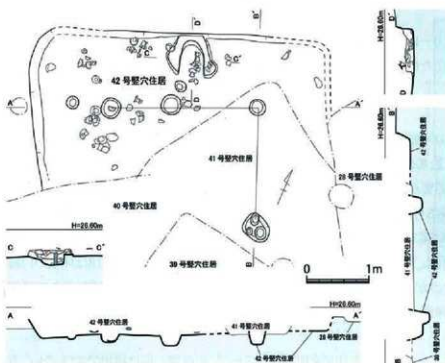
の坏蓋。8は高台を持つ須恵器の椀。9～15は土師器で、9は坏。10は土師器の皿。11は直立気味な胴部から短い口縁が湾曲して開く甕。12は強く湾曲した口縁部が開く壺。13は湾曲した短い口縁が湾曲して開く甕。14は甕の把手。15は甕の口縁から体部にかけて。

53号竪穴状遺構 [第67図 図版10] 50号竪穴住居に切られ、57号竪穴住居、52・77号竪穴状遺構を切る南側の壁がやや短い方形プランの遺構である。数基の直径1m程度の円形の遺構と切り合っているが、前後関係は不確実で、遺物が混入している可能性を考える必要がある。また土層図には土色等の記録は無い。この遺構の性格については、井戸か、あるいは全く別の遺構である可能性もある。柱穴となるようなピットは確認できていない。**出土遺物 [第69図16～31 図版27・28・35・36]** 16～19は須恵器。16は弱い稜線で口縁部と分けられる天井部に不定方向のケズリが施される坏蓋。口縁端部内側に段が付く。17は坏蓋で、嘴状に端部が下向き、天井部が膨らむ。18は坏蓋の口縁部片。19は立ち上がりのある坏身でヘラ記号あり。20～27は土師器で、20～22は口縁部が湾曲して開く甕の口縁部片。23は鉢の口縁部片。24は短い口縁部が湾曲して開く甕。25～27は把手。28～30は土鍾。31は玉状土製品。

54号竪穴住居 [第68図 図版10・11] 70号・72号竪穴住居を切る竪穴住居で、北西側の壁は検出できていない。方位はN-30°-W カマドは70号竪穴住居に設けられたものと考えられる。54号竪穴住居検出時に床面下のレベルで検



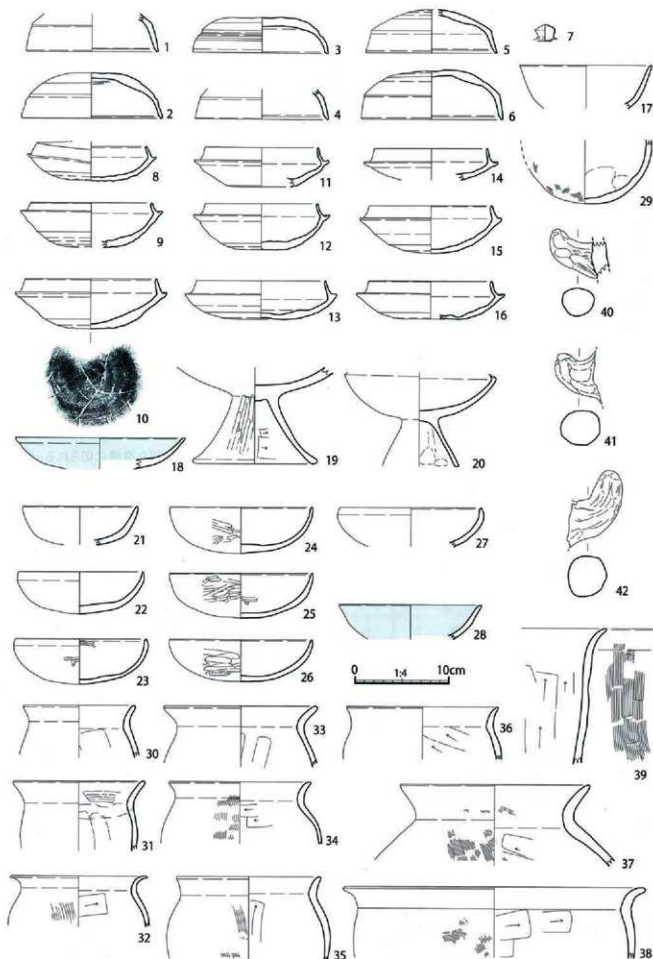
第54図 鳥田遺跡 39・40・41号竪穴住居(SB39・40・41) 出土遺物実測図[1/4]



第55図 鳥田遺跡 42号竪穴住居(SB42) 実測図[1/60]

出されている。出土遺物[第69図32~35 図版27]32・34はカマドからの出土。調査時54号竪穴住居出土遺物で整理されているが、このカマドが付属する70号竪穴住居出土遺物の可能性あり。32は須恵器で、高坏脚部の裾部片。33~35は土師器で、33は坏。34は高坏の坏部で、底部と口縁部の境界に稜線が巡る。35は南側コーナーから出土した、胴部から括れずに短い口縁部が湾曲して開く。

55号竪穴状遺構[第70図 図版11]56号竪穴状遺構に切られ



第 56 図 島田遺跡 42号竪穴住居 (SB42) 出土遺物実測図 [1/4]



第57図 島田遺跡 43号竪穴状遺構 (SB43) 実測図[1/60]



第59図 島田遺跡 45号竪穴住居 (SB45) 実測図[1/60]



第58図 島田遺跡 44号竪穴状遺構 (SB44) 実測図[1/60]

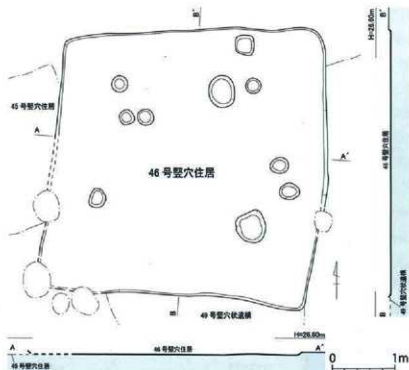
る不定形な遺構で、南西側壁に焼土が確認できる。南側で円形の性格不明な遺構に切られる。出土遺物は無い。

56号竪穴状遺構[第70図 図版11]55号竪穴状遺構を切る方形プランの竪穴状遺構で、南側コーナー付近で円形の性格不明な遺構を切る。方位はN-40°-W。中央より南東寄り焼土が確認できる。出土遺物は無い。

57号竪穴住居[第71図 図版11]77号竪穴状遺構を切り、53号竪穴状遺構、70号竪穴住居に切られる方形プランの竪穴住居で、柱穴と考えられるビット等は確認できていない。出土遺物[第72図 図版28]1~4は須恵器。1は坏蓋で、天井部と口縁の境の稜線がなくなりつつある。2は端部内側に段が付く坏蓋の口縁部片。3は口縁端部が嘴状に短く下降し、天井部の丸い影にみちみちる坏蓋。5は立ち

上が叩のある土師器の坏。

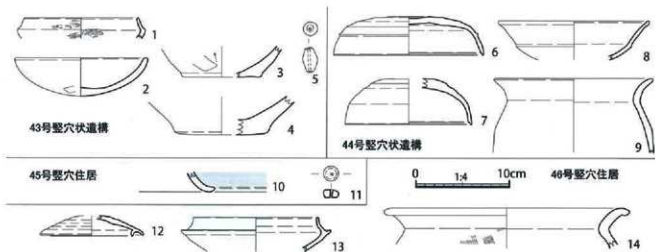
58号竪穴住居[第73図 図版11]59・75・82号竪穴住居に切られる。北西-南東方向に長い方形プランと考えられ、方位はN-34°-W。南東壁にカマドが設けられる。出土遺物は無い。



第60図 島田遺跡 46号竪穴住居 (SB46) 実測図 [1/60]

59号竪穴住居[第74図 図版11]77号竪穴状遺構、58号竪穴住居、83号竪穴状遺構を切る。方位はN-77°-E。やや東西方向に長い方形プランを呈し、西側壁中央南寄りにカマダが設けられる。出土遺物[第78図1~5 図版28・29・35]1はかえりの付く須恵器の坏蓋で、欠損しているがつまみが付く。2は口縁部が屈曲して開く寛。3は湾曲した口縁部が直線的にわずかに開き、端部で強く外反する土師器の寛。4は平底の弥生土器の底部。5はミニチュア土器で、外面を平行ナデで整え、内面にねじり痕があることから、高坏の脚部と考えられる。

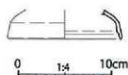
60号竪穴住居[第75図 図版11]61・



第61図 島田遺跡 43・44号竪穴状遺構、45・46号竪穴住居 (SB43・44・45・46) 出土遺物実測図 [1/4]



第62図 島田遺跡 49号竪穴状遺構 (SB49) 実測図 [1/60]

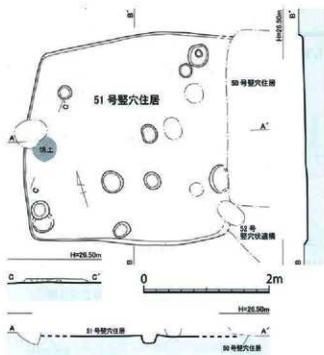


第63図 島田遺跡 49号竪穴状遺構 (SB49) 出土遺物実測図 [1/4]



第64図 島田遺跡 50号竪穴住居(SB50) 実測図[1/60]

62・73・78号竪穴住居を切る方形プランの竪穴住居で、方位はN-81°-W。西側壁中央にあるカマドは西側壁に垂直では無く、焚き口を南東に向ける形で検出されている。柱穴と考えられるピットは確認出来ていない。出土遺物[第78図6・7 図版29]いずれも須恵器の高坏の脚部片で、7はカマドから出土。



第65図 島田遺跡 51号竪穴住居(SB51) 実測図[1/60]

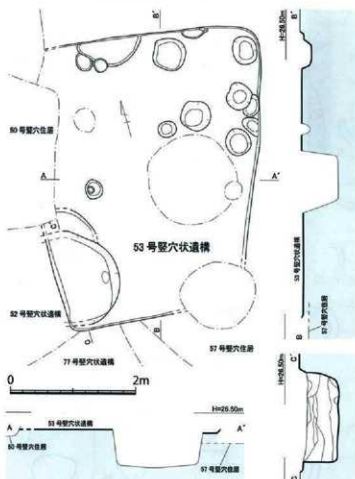


第66図 島田遺跡 52号竪穴状遺構(SB52) 実測図[1/60]

竪穴住居で、西側壁中央北よりにカマドが設けられる。床面は西側から南側に壁に沿って幅約0.6m~1mで一段低くなっている。柱穴と考えられるピットは確認出来ていない。出土遺物[第78図8~10 図版29]いずれもカマドからの出土の土師器である。8は高坏の坏部口縁部片か。9は高坏の脚部片。

62号竪穴住居[第76図 図版11]60-61号竪穴住居に切られる方形のプランを呈する竪穴住居で、西側にカマドを設ける。出土遺物[第78図11~13 図版28]11は天井部と口縁の境の稜がなくなりつつある須恵器の坏蓋。12は土師器の高坏で、内外共に赤色顔料が付着し、ミガキが施される。13はカマドから出土した不明土製品で、ヘラ状工具で側面も含め調整したのち、ミガキが施される。

63号竪穴住居[第77図 図版12]81号竪穴状遺構・7号土坑を切る。83号竪穴状遺構は検出状態が悪く、63号竪穴住居との前後関係は不明。南西側コーナーがやや突出した感のある方形プランを呈する竪穴住居で、北側壁中央に壁を切り込む形でカマドが設けられる。柱穴となるピットは確認出来ていない。出土遺物[第78図14~23 図版28・29・35・36]14~18は須恵器で、14は天井部と口縁の境に稜が巡り、口縁端部内側に段の付く坏蓋でへう記号有り。15は口縁端部が嘴状に下がった天井部が影らむ坏蓋。16は頂部のくまんだつまみを伴う、天井部がふくらむ坏蓋。17は高坏の坏部で口縁部と底部との境界に稜が巡る。18は高坏の脚部で外面にカキ目が施される。19~21は土師器で、19は高坏の坏部の口縁部片。20は湾曲して広がる口縁の甕。21は屈曲した口縁が外反して広がる甕。22は土鍾。23は石英斑岩製の砥石。



第 67 図 島田遺跡 53号竪穴状遺構(SB53) 実測図 [1/60]

66号竪穴住居出土遺物[第80図1 図版29]

土遺物中に66号竪穴住居出土としての記録があるものが存在するが、平面図上で66号竪穴住居の記載は見つからない。土師器の甕の口縁部から胴部にかけてで、屈曲した口縁部がわずかに外反しながら開く。

67号竪穴状遺構[第79図 図版12]69号竪穴

住居、74号竪穴状遺構を切り、44号竪穴状遺構に切られる南北方向に長い方形プランを呈する竪穴状遺構で、柱穴となるピットは確認出来ていない。出土遺物[第80図2 図版29]器種が不明の土師器の外反しながら開く口縁端部小片。

69号竪穴住居[第4図]北側と南側の壁と

思われる箇所のみ検出され、東側は67号竪穴状遺構に切られる。出土遺物[第81図 図版2]いずれも土師器で、1は高坏の脚部の裾部片で、端部が上方に逸れる。2は体部と口縁部の境が無い甕。

70号竪穴住居[第68図 図版12]54号竪

穴住居に切られる方形プランを呈する竪穴



第 68 図 島田遺跡 54・70号竪穴住居(SB54・70) 実測図 [1/60]

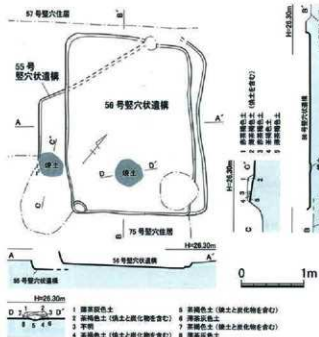


第69図 島田遺跡 50・51・54号竪穴住居、52・53号竪穴状遺構(SB50・51・52・53・54) 出土遺物実測図
[1/4]

住居で、方位はN-7°-E。西側壁中央にカマドが設けられる。柱穴となるピットは確認できていない。遺物の出土は無いが、54号竪穴住居検出時にカマドから出土している遺物(69図32-34)は70号竪穴住居出土遺物と考えられる。

72号竪穴住居[第82図 図版12]54号竪穴住居と3号溝状遺構に切れ、西側壁のみ検出できた。西側壁にカマドが設けられる。柱穴となるピットは確認できていない。出土遺物[第84図1・2 図版29]1は内傾する立ち上りの須恵器の坏身。2は立ち上がりのある土師器の坏で、外面はミガキが施される。

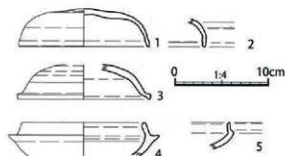
73号竪穴状遺構[第83図]60・62号竪穴住居に切られる遺構で、西側コーナー付近のみ検出できた。出土遺物[第84図3-5 図版29-35]3は東側で6出土した丸底の土師器の甕の底部。4・5は玉状土製品。



第70図 島田遺跡 55-56号竪穴状遺構(SB55-56) 実測図[1/60]



第71図 島田遺跡 57号竪穴状遺構、77号竪穴状遺構(SB57-77) 実測図[1/60]



第72図 島田遺跡 57号竪穴状遺構(SB57) 出土遺物実測図[1/4]

74号竪穴状遺構[第85図 図版12]67号竪穴状遺構に切られ、南側壁付近のみ検出できた。出土遺物は無い。

75号竪穴状遺構[第86図]55-56号竪穴状遺構に切られ、58号竪穴状遺構を切るやや北西壁が長い方形プランを呈する竪穴状遺構で、柱穴となるピットは確認できていない。西側コーナー付近に55号竪穴状遺構に切られるやや南北に長い円形の遺構と切り合っているが、前後関係は不明。出土遺物[88図1 図版30]須恵器の高杯の坏部片で、坏底部と口縁を分ける境に沈線が巡り、そこから口縁端部が外反して広がる。

76号竪穴状遺構[第87図 図版12]80号竪穴状遺構を切る方形プランを呈する竪穴状遺構で、柱穴等は確認できていない。

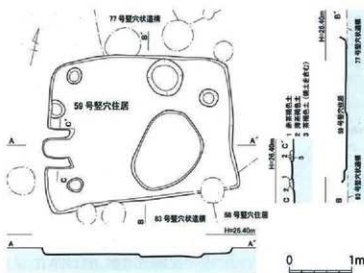
出土遺物[第88図 2~16 図版30~36]2-5は須恵器。2は口縁端部内側に段の付く坏蓋で、ヘラ記号あり。3は坏蓋で、歪みが大きく天井部と口縁部の境に稜が巡り、口縁端部内側に段が付く。4-5は坏身で、4は内部に同心円状の当て具痕。5はヘラ記号あり。6-15は土師器で、6-8は坏で、いずれもミガキが施される。9-12は高坏で、9-11は赤色顔料が付く。13-15は甕で、13は胴部下半で張り、短い口縁部が湾曲して開く甕。14は甕の口縁部片。15は窄まった胴部が屈曲して外反して開く口縁部の甕。16は叩き石。

77号竪穴状遺構[第71図 図版11]57-59号竪穴状遺構に切られ、西側壁のみ検出されている。遺物の出土は無い。

78号竪穴状遺構[第89図 図版11]60-61号竪穴状遺構に切られる竪穴状遺構で、北東側壁のみ検出できた。北東壁中央にカマドが設けられているが、調査時には焚き口を壁側に向けているように検出されている。袖部の誤認か、あるいは他の遺



第73図 島田遺跡 58号竪穴住居 (SB58) 実測図 [1/60]



第74図 島田遺跡 59号竪穴住居 (SB59) 実測図 [1/60]

80号竪穴状遺構 [第87図] 76号竪穴住居に切られる不定形の遺構で、北西側壁のみ検出出来た。遺物に図示出来るものは無い。

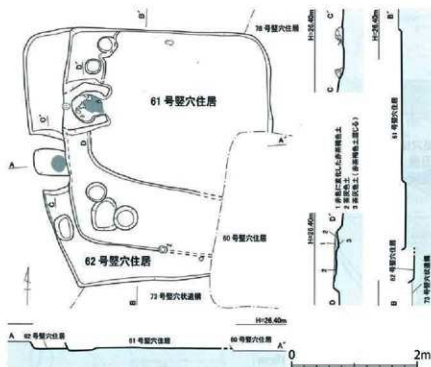
81号竪穴状遺構 [第77図] 63号竪穴住居に切られる遺構で、西側コーナー付近のみ検出できた。後に63号竪穴住



第75図 島田遺跡 60号竪穴住居 (SB60) 実測図 [1/60]

構に付随するものか残された図面と写真からは推測が難しいが、ここでは78号竪穴住居に設けられたものとして整理した。周辺は遺構番号の付番に混乱が見られ、他の遺構である可能性は捨てきれない。出土遺物 [第90図1 図版30] 比較的短い口縁部が湾曲して開く土師器の壺で、口縁部外側を縦方向にケズリを施し器壁を薄くする。

79号竪穴住居 [遺構範囲不明 図版12] 79号竪穴住居は遺構範囲が不明であるが、79号竪穴住居から出土した遺物として整理された遺物が存在することから、おそらく78号竪穴住居付近に存在していたものが整理の課程で抜け落ちてしまっているものと考えられる。出土遺物 [第90図2~4 図版30] 2は内外にミガキの入る土師器の坏。3は須恵器の壺の口縁部片。4は長胴化が顕著な土師器の甕の胴部。



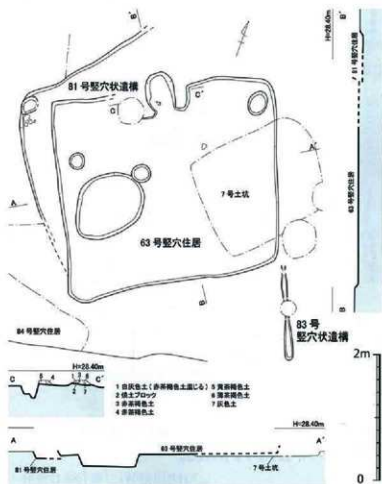
第76図 島田遺跡 61-62号竪穴住居(SB61-62)実測図[1/60]

居として建て替えが行われた可能性がある。出土遺物[第93図1・2図版30]いずれも須恵器で、1は立ち上がりやや短く内傾気味の坏身。2は壺の口縁部片。

82号竪穴状遺構[第91図図版13]調査区境界に切れ、北側のみ検出できており、西側にカマドが検出された。出土遺物[第93図3・4図版31]いずれも須恵器で、3は天井部と口縁の境に横に廻り、口縁端部内側に段のある坏蓋。4は高坏の脚部据部片。

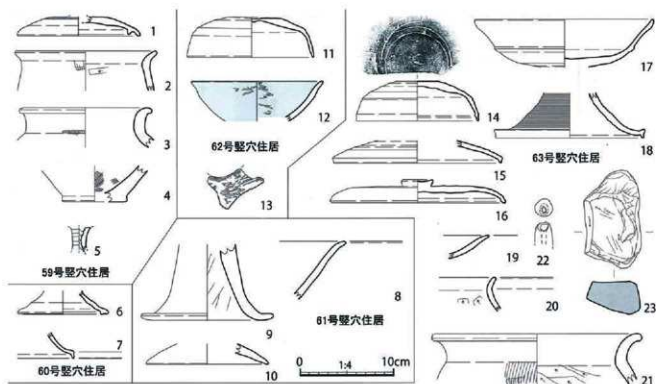
83号竪穴状遺構[第77図]平面図に63号竪穴住居の東側に「83号竪穴住居」の記載があり、おそらくこのあたりに遺構の存在を確認して調査がなされたが、遺構の範囲は図から判別が難しい。63号竪穴住居の南東側に走る溝状の遺構が塋溝と考えられるか。出土遺物[第93図5・6]いずれも土師器で、口縁部が屈曲し、外反して開く壺の口縁部から胴部にかけて。

84号竪穴住居[第92図図版13]南側を調査区境界に切られる遺構で、やや南側に広がった方形プランを呈するか。柱穴と考えられるピット等は確認出来ていない。北側壁中央やや西よりにカマドが設けられる。出土遺物[第93図7・8図版31]いずれも須恵器の坏蓋で、8は口縁部がくの字に下降し天井部がやや膨らむ。



第77図 島田遺跡 63号竪穴住居、81-83号竪穴状遺構(SB63-81-83)実測図[1/60]

85号竪穴住居出土遺物[第93図9図版31]平面図では85号竪穴



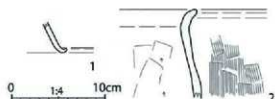
第78図 島田遺跡59~63号竪穴住居(SB59~63) 出土遺物実測図[1/4]



第79図 島田遺跡 67号竪穴伏道構(SB67) 実測図[1/60]



第80図 島田遺跡 66号竪穴住居、67号竪穴伏道構 (SB66-67) 出土遺物実測図[1/4]

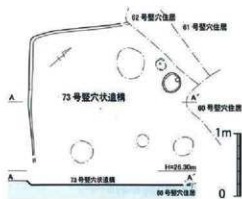


第81図 島田遺跡 69号竪穴住居(SB69) 出土遺物実測図[1/4]

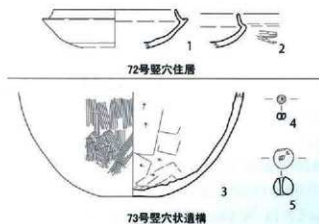
住居の記載がないものの、85号竪穴住居出土遺物として整理された遺物があるので掲載する。弥生土器の甕で、底部側面を指押さえて整え、胴部は直線上に開く。内面のハケメが弧をなすように残る。



第82図 島田遺跡 72号竪穴住居 (SB72) 実測図 [1/60]



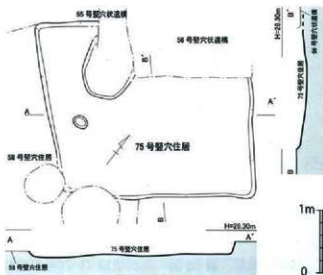
第83図 島田遺跡 73号竪穴住居 (SB73) 実測図 [1/60]



第84図 島田遺跡 72号竪穴住居、73号竪穴住居 (SB72-73) 出土遺物実測図 [1/4]



第85図 島田遺跡 74号竪穴住居 (SB74) 実測図 [1/60]



第86図 島田遺跡 75号竪穴住居 (SB75) 実測図 [1/60]

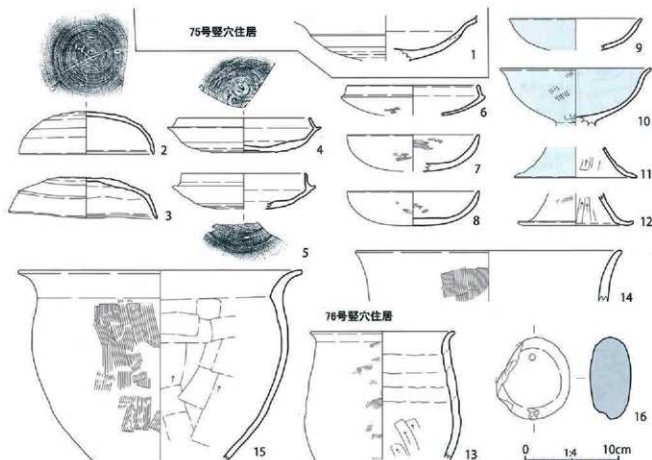


第87図 島田遺跡 76号竪穴住居、80号竪穴住居 (SB76-80) 実測図 [1/60]

(2) 建物

建物は調査時に4軒検出された。

1号建物 [第94図] 8号竪穴住居、2号溝状遺構を切り、7号竪穴住居に切られる4間×5間の建物で、方位はN-10°-E。



第88図 島田遺跡 75・76号竪穴住居 (SB75・76) 出土遺物実測図 [1/4]



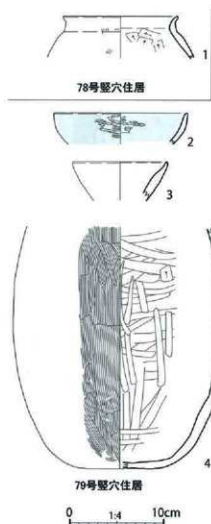
第89図 島田遺跡 78号竪穴住居 (SB78) 実測図 [1/60]

柱間平均は約1.3m。北側に柱穴が列をなすが、1号建物の柱穴と柱間距離を異にし(平均約1.16m)、庇とは言いがたい。

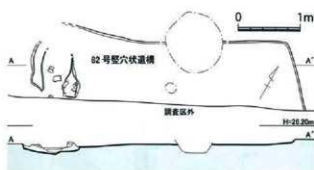
2号建物[第95図] 36号竪穴住居を切る、方位はN-88°-Wの1×2間の建物で、やや北側の柱間が長い。柱間距離北側が約2.1m、南側が約1.85m。出土遺物[第97図1・2] 1・2は口縁が外反しながら開く甕の口縁部片。

3号建物[第96図] 南北に走る柱列を4列検出した。西側の2列については南側で確認出来ない。方位はほぼつぎがあるものの、およそN-13°-Wである。建物として検出されており、最も西側の列と西から3番目の列、西から2番目の列と最も東の列が対応しそうであるが、横列であった可能性も捨てきれない。柱間距離は西から2列目が約1.65m、3列目が約1.6mである。東側の柱

列の検出について、北側の2基についてはそれぞれ柱穴の堀方が検出され、東側のものが西側を切る(P-01・02)。それより南側(P-03~05)については一つの堀方として検出されているが、おそらく北側の2つの柱穴と同様、二つの堀方が切り合っていたものと考えられる。出土遺物[第97図3・4 図版31] 3は須恵器で、天井部と口縁部の境に稜線が巡り、口縁端部内側に段の付く坏蓋。4は口縁と胴部の境がなく、直線的に開く甕。



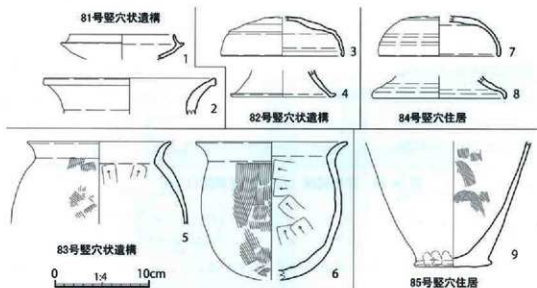
第90図 島田遺跡 78・79号竪穴住居 (SB78・79) 出土遺物実測図 [1/4]



第91図 島田遺跡 82号竪穴状遺構 (SB82) 実測図 [1/60]

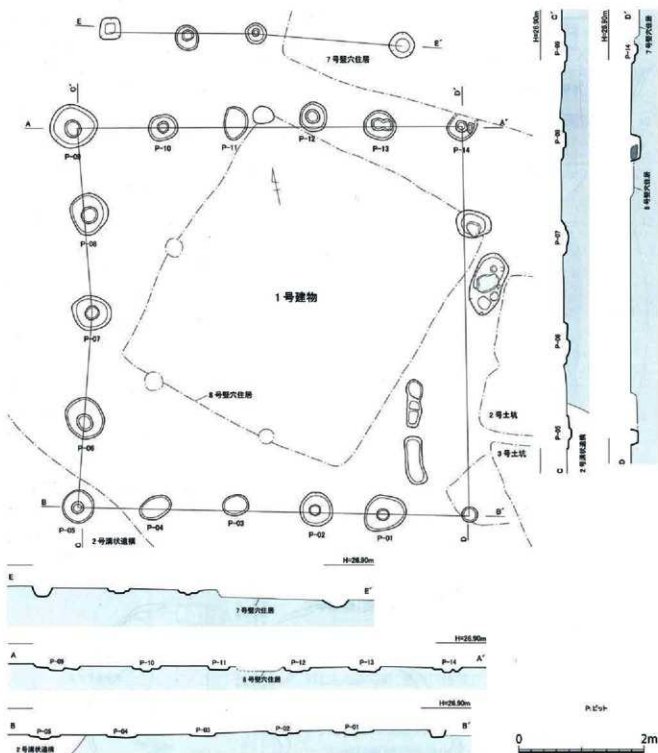


第92図 島田遺跡 84号竪穴住居 (SB84) 実測図 [1/60]



第93図 島田遺跡 81-83号竪穴状遺構、84・85号竪穴住居 (SB81-85) 出土遺物実測図 [1/4]

4号建物[第98図 図版13]南側が調査区外で、確認できている範囲は1×2間である。方位はN-76°-Wで、やや南側の柱間が長い。柱間距離は北側が約1.54m、南側が約1.75mである。



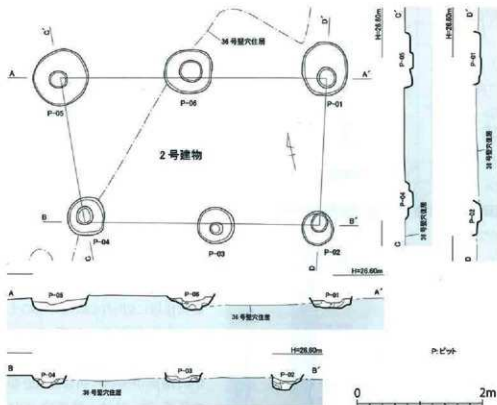
第94図 鳥田遺跡 1号建物 実測図[1/60]

(3) 土坑

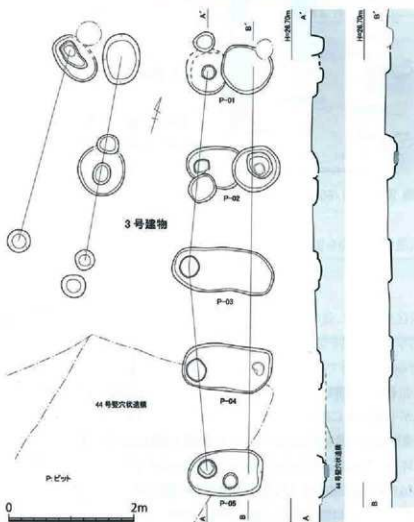
調査時に土坑として検出されたものが7基まで付番されている。

1号土坑[第99図 図版13]東側を調査区境界に切られる隅丸方形の土坑で、東側に不定形の落ち込みがあるが性格は不明。出土遺物[第100図1・2 図版31]いずれも土師器で、1は坏。2は甕。

2号土坑[第99図 図版13]南北方向に長い土坑で、南側にある3号土坑の北側に連なるかたちで深さもほぼ同じ。性



第95図 島田遺跡2号建物 実測図[1/60]



第96図 島田遺跡3号建物 実測図[1/60]

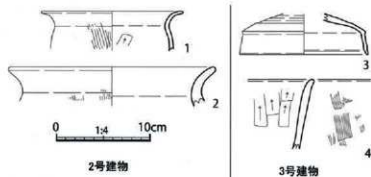
格は不明。出土遺物[第100図3・4 図版31]3は土師器の高坏。4は外反しながら窄まる口縁端部に刻みの施される弥生土器の甕の口縁部片。

3号土坑[第99図 図版13]2号土坑の南にあってさらに南の4号土坑を切る。出土遺物[第100図5・6]すべて須恵器の蓋坏片で、共に天井部と口縁部の境に稜線が巡る。

4号土坑[第99図 図版13]3号土坑に切られる不定形の土坑で、性格は不明。出土遺物[第

100図7~10 図版31]いずれも須恵器。7・8は坏蓋で、共に天井部と口縁部の境の稜線が消失している。9は壺の頸部か。10は口縁部片で、カキメの上からヘラ描き沈線紋が斜め方向に走る。

5号土坑[第99図 図版14]3号溝状遺構を切る南北方向に長い隅丸方形の土坑。手捏ね土器や土製模造鏡、玉状土製品の出土が集中しているが、性格は不明。出土遺物[第100図11~28 図版31・32・35・36]11~15は須恵器で、11は歪んだ坏蓋で、天井部と口縁部の境に稜線が巡り、口縁端部内側に段。12は坏蓋の口縁部小片。13・14は坏身。15は波状紋が施された甕の口縁部片で段が付く。16~18は土師器。16は胴部と口縁部の境がなく外反しながら開く甕の口縁部片。17は口縁部が外反しながら短く開く甕。



第97図 島田遺跡 2・3号建物 出土遺物実測図[1/4]

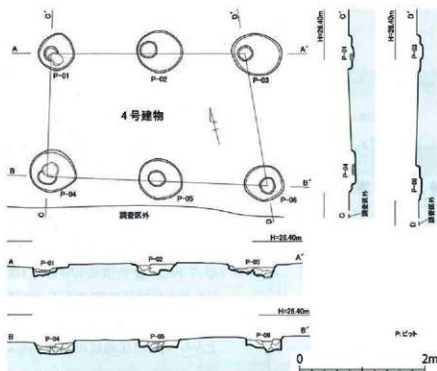
18は屈曲した口縁が外反しながら開く壺。19~23は手捏ね土器で、19は甕の底部、20・21は坏、22は高坏を模したものか。24は土製模造鏡。25・26は玉状土製品。27・28は滑石製の白玉。

6号土坑[第99図] 北西-南東方向に長い隅丸方形の土坑。出土遺物は無い。

7号土坑[第99図 図版14] 63号堅穴住居に切られる隅丸方形の土坑。出土遺物[第100図 29~32 図版32] 29は天井部が低く盛り上がり、端部が嘴状に折れる須恵器の坏蓋。30~31は土師器で、30は口縁端部の小片31は甕の胴部下半の一部。32は鉢。

(4) 溝状遺構

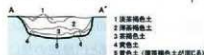
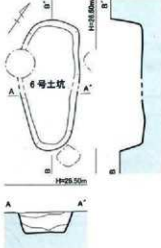
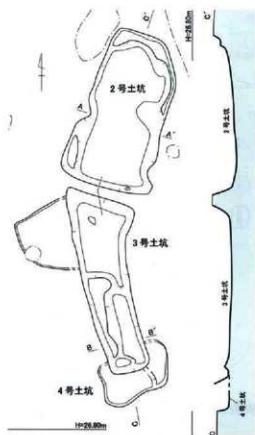
調査区内には2号溝状遺構によって東西に分断されており、西側により古い遺構が集中する。



第98図 島田遺跡 4号建物 実測図[1/60]

1号溝状遺構[第101図 図版14] 2号溝状遺構に南側を切られ、北は調査区外に抜け、幅は約0.35m、深さは約0.13mの溝状遺構。出土遺物は無い。

2号溝状遺構[第102図 図版14] 北は調査区外に抜け、途中北側から10号堅穴住居を切り、1号溝状遺構を切り、9号堅穴住居を切り、1号建物に切られ、15・16号堅穴住居を切り、31・33号堅穴住居、32・34号堅穴状遺構に切られ、43号堅穴状遺構を切り、南で調査区外に抜ける溝状遺構である。10号堅穴住居との切り合いがある付近から南側に、焼土が確認でき、遺物の出土を伴っており、おそらく2号溝状遺構と切り合う他の遺構がここにあったことが調査時には発見されていたであろうと考えられる注記が平面図上に確認できたが、検出するには至らなかったようである。出土遺物[第103~107図 図版32・33・34] この遺跡の中で最も多く遺物が出土した遺構で、図化した物だけでも100点を超える。1~30は須恵器で、1~23は甕坏で、坏蓋の5・9・11、坏身の18・23にヘラ記号が見られるほか、15の坏身の内側にもヘラ状の工具で施された痕がみられる。坏蓋はほぼすべて天井部と口縁部の境に稜線が走り、1~7は口縁端部の内側に段が付く。13はつまみが付く。24は高坏。25は脚部片か、あるいは甕の口縁。26は短頸壺の頭部と胴部の一部片。27は頸部の途中に稜線を巡らせたうえで波状文が走る。28は口縁部に波状文が走り、その下に5条の沈



第99図 島田遺跡 1~7号土坑(SK01~07) 実測図[1/60]

線が走る高坏の坏部片。29・30は提瓶。31から51は坏で、52から57は立ち上がりがある。58・59・106・108は鉢の口縁部片。60~64は高坏で、60~63は内外に赤色顔料が施される。65~68は黒色土器(A類)で、66~68は立ち上がりが付く。69~83・105・107は小型の甕で、頸部が直線的に開くもの70、頸部が端部で強く外反するもの73・76、頸部がくの字に屈曲し開くもの69・79、小型で頸部が短く開くもの81・82、胴部と頸部の境が無く緩やかに開くもの83、などがある。84から102は甕で、91は胴部が長い。92は肩部に穿孔がある。109~113は甕で、110は口縁部端にキザミの入る弥生土器。115~123は甕で、116~117は底部が筒抜けの単孔。119は把手部を欠いた口縁部から胴部にかけての一部で、ハケ目がこの把手の欠損箇所が観察でき、把手が貼り付け法によるものであることがわかる。120~122は把手部で、121は先端が上方にごく短く折れる。123は多円孔の甕の底部片。

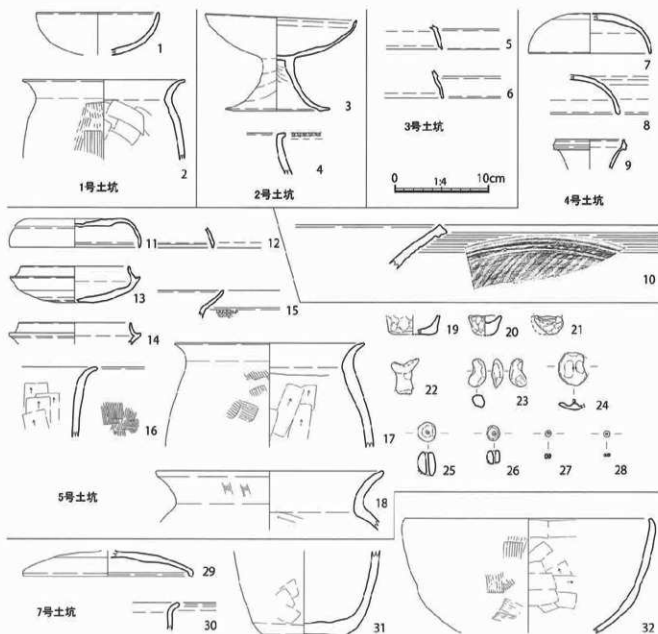
3号溝状遺構[第101図]北を24号堅穴住居に切られ、途中37号堅穴状遺構、5号土坑に切られ、南は72号堅穴住居に切られる。幅最大0.7m、深さ0.6~0.9mの溝状遺構。

(5) 不明遺構

3箇所不明遺構が検出されて

おり、うち1号不明遺構は何度も遺構番号の変更が現地における調査で行われており、遺物の出土状況に不明な点が多い。

1号不明遺構[第108図 図版14]当初26号堅穴住居の住居内土坑として検出していたものが、調査中どの時点かはわからないが、別遺構として整理されたものである。周辺の堅穴住居と比較して著しい遺物の出土数が確認出来る。西側壁中央より南よりに焼土が確認出来る。出土遺物[109図 図版34・35]当初26号堅穴住居の住居内土坑と

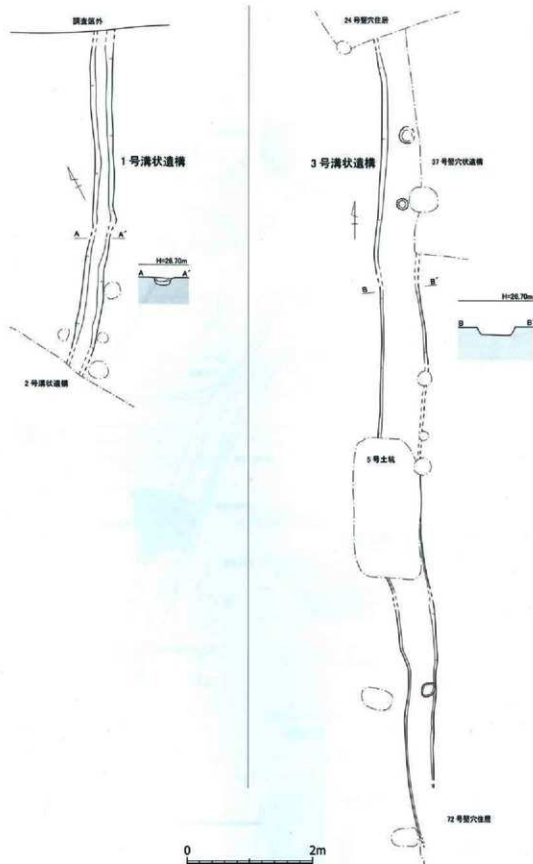


第100図 島田遺跡 土坑出土遺物実測図[1/4]

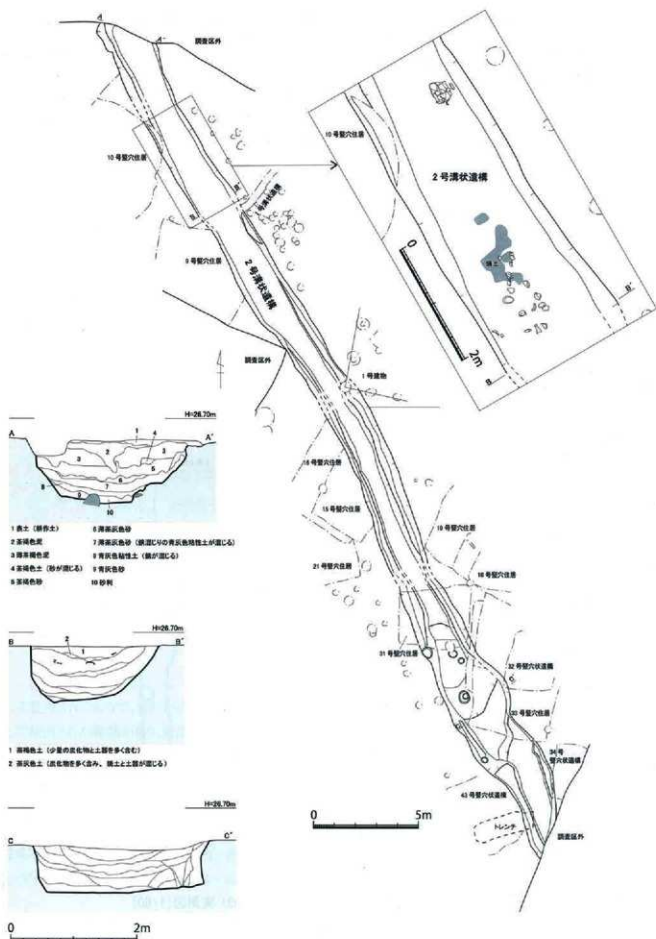
して整理されたものが、後に1号不明遺構として再整理されており、また、2号溝状遺構の一部に当初1号不明遺構として検出された範囲があり、遺物の出土状況については正確さを欠く。1～6は須恵器で、1は天井部と口縁部の境に稜線が付き、口縁端部内側に段がつく蓋、ヘラ記号有り。2は坏身。3はつまみが付き、口縁端部がくの字に曲がる。4～6は椀で、4・5は高台付き。7～16は土師器で、7～12・13・15は坏で、10は立ち上がり吻がある。14は高坏の坏部下半と脚部上部の一部。17は甕の底部。18～23は土鍾。

2号不明遺構[110図 図版14] 北西～南東方向に長い土坑で、南側に焼土が確認出来る。出土遺物[112図1～5] いずれも土師器で、2は坏。3は皿。3～5は口縁部が湾曲し外反する壺。

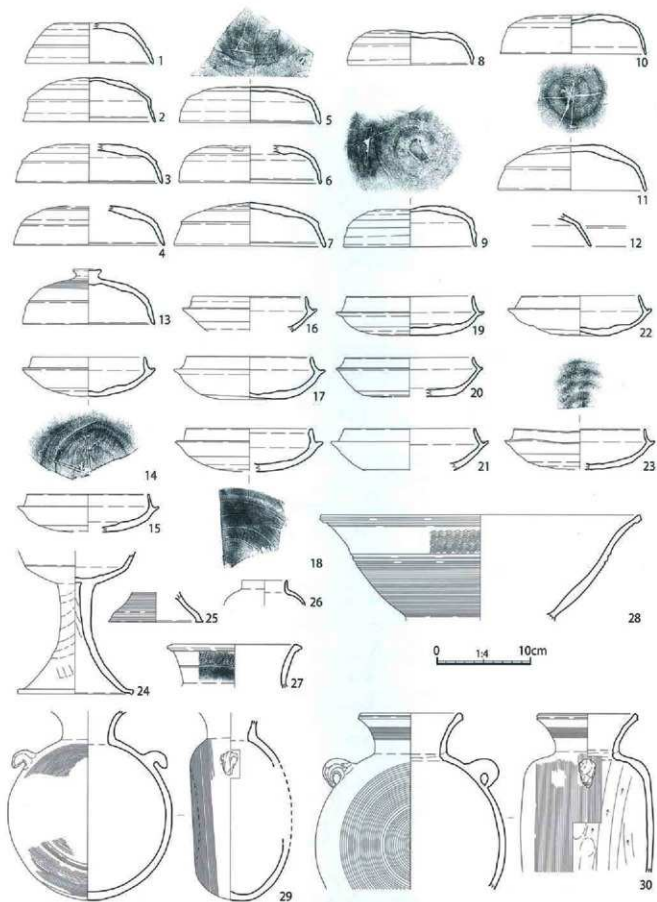
3号不明遺構[111図 図版14] 南北に長い溝状の遺構に、ピットが設けられる遺構である。検出した範囲より南側に続いていた可能性があり、南側に検出面が重複しているが未掘状態となっている範囲があるため不明。出土遺物[112図6] 土師器の短頸壺。



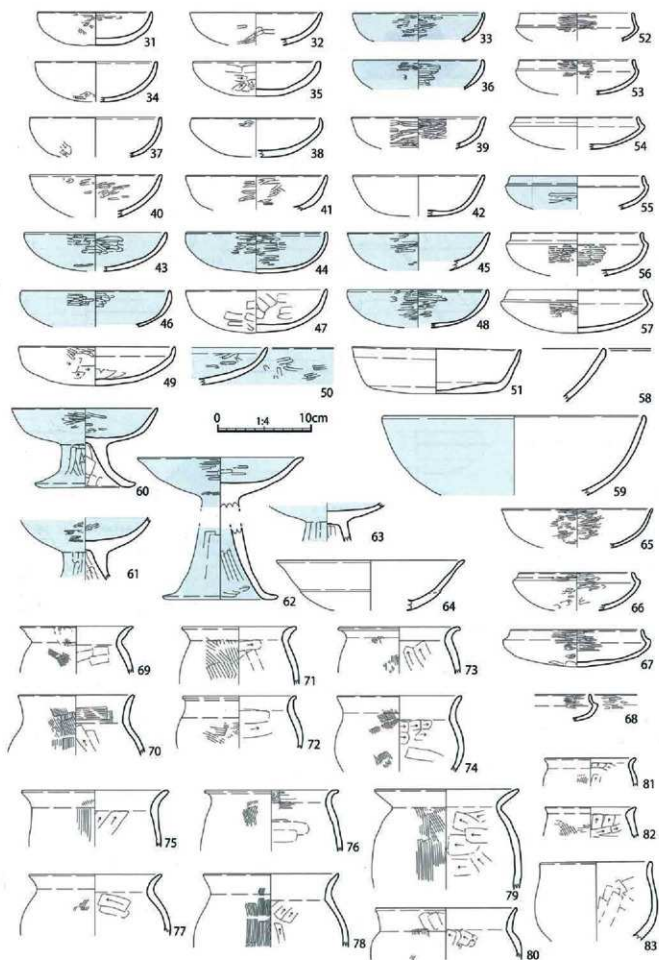
第 101 図 島田遺跡 1・3号溝状遺構(SD01・03) 実測図[1/60]



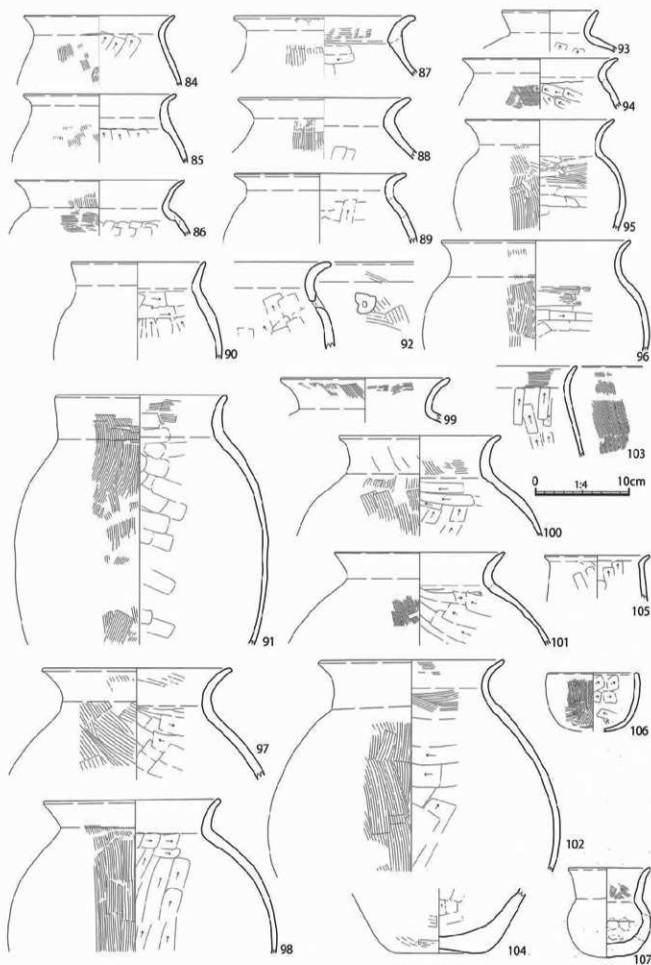
第102図 鳥田遺跡 2号溝状遺構(SD02) 実測図[1/60・1/180]



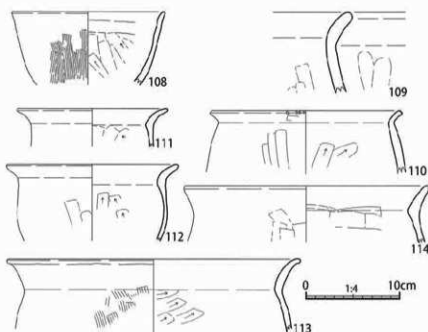
第103图 島田遺跡 2号溝状遺構(SD02) 出土遺物実測図① [1/4]



第104图 島田遺跡2号溝状遺構(SD02)出土遺物実測図② [1/4]



第105図 島田遺跡2号溝状遺構(SD02)出土遺物実測図③ [1/4]



第 106 図 島田遺跡 2号溝状遺構(SD02) 出土遺物実測図④ [1/4]

上方に屈曲する。14は砥石で、4面を利用し摩耗して細くなり、残った端部が丸く残る。15はガラス玉だが、出土した箇所が攪乱中となっており、該当するピット(P04)を図面上で確認出来ない。

(7) 石器

石器の出土は弥生時代の遺構の10-30号竪穴住居が最も多い。

石器[114図]1～5が黒曜石製、6～18がササカイト製の石鏃。2・15は10号竪穴住居、1・3～7・9

・10・12・14・16～18は30号竪穴住居、8は8号竪穴住居、11は12号竪穴住居、13は27号竪穴住居からの出土。

(8) 遺構に伴わない遺物

遺物の中で、遺構に伴わない遺物について、図示できる物を掲載する。

その他の遺物[115図 図版36]その他出土箇所のわからない遺物についてここに掲載する。1～3は須恵器で、3は返りが付く小径(8.7cm)の蓋。4は黒色土器(B類)で細かいミガキが施される。5・6は壺。7は玉口縁の鍋。8は紡錘車で滑石製。

3 向田遺跡の調査

1994年に刊行された概報によると、平成4年度に行われたアモメ遺跡(1次)の北側延長部に該当し、また、アモメ2次の西側延長部にもあたる排水路設置地点において東西方向にトレンチを設定し調査を行った。

調査区西側において、埋没した旧河川1条を検出した。とのことである。

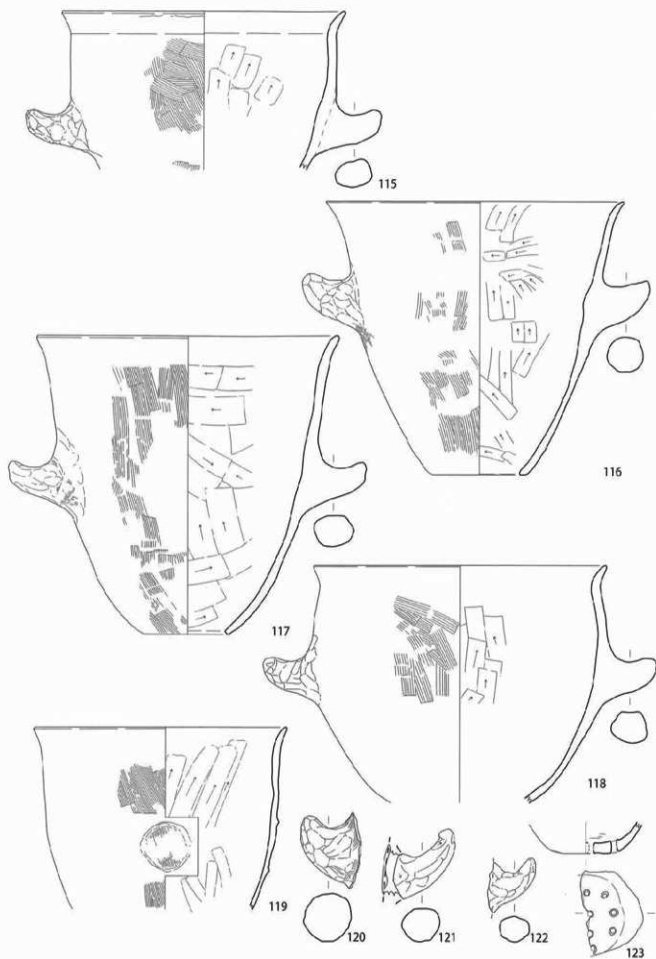
概報に掲載されている排水路設置予定箇所は現在の排水路が設置してある箇所より若干南側にずれており、調

(6) その他の遺構

そのほか、ピット等から出土した遺物を掲載する。

その他の遺構の出土遺物実測図

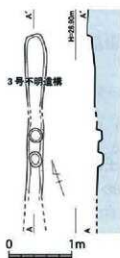
[113図 図版34・35・36]1～5は須恵器で、1は口縁部と口縁を分ける稜線が消失しつつある。2は口縁部に段の付く器。3は甕の口縁部片。5は埴。6・7・9・10は土師器で、6・7は坏。9は壺の口縁部片。10は甕。8は黒色土器(A類)で、内外に細かいミガキが施される。11～13は甕の把手で、11・12が断面円形なのに対し、13は扁平でやや



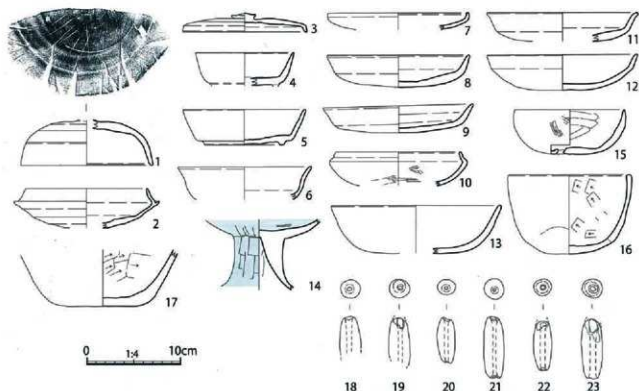
第 107 図 島田遺跡 2号溝状遺構(SD02) 出土遺物実測図⑤ [1/4]



第108図 島田遺跡 1号不明遺構 実測図
[1/60]



第111図 島田遺跡 3号不明遺構 実測図 [1/60]



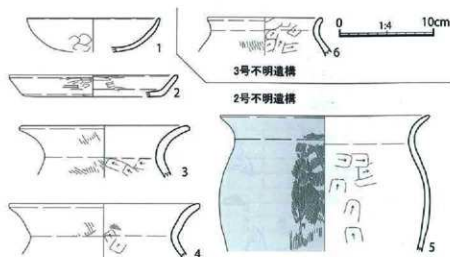
第109図 島田遺跡 1号不明遺構 出土遺物実測図 [1/4]



第110図 島田遺跡 2号不明遺構 実測図 [1/60]

査時の図面も存在しておらず、調査範囲については今後過年度報告を刊行していく中で手がかりとなるような資料が得られるところである。遺構の旧河川についても、現在のところ概報以上のことは不明であるが、概報に掲載されている写真のほかにも別方向から撮影されたものが残っていたので、それを掲載し、遺構については概報に記載された説明文をここに掲載する。(以下概報による向田遺跡の内容)

溝状遺構(旧河川) [図版37] 河川の幅は18m以上、深さは水田



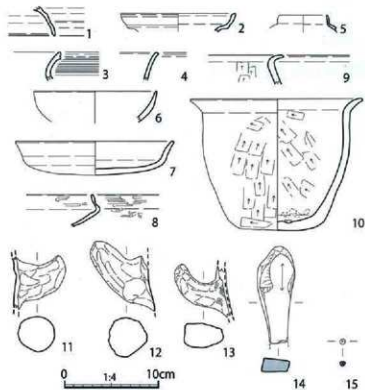
第112図 島田遺跡 2・3号不明遺構 出土遺物実測図[1/4]

耕作面より2.5mに河床がある。矢部川から分岐した枝河川と思われ、その西側延長部は三河小学校庭遺跡(八女市文化財調査報告書第22集参照)の旧河川にジョイントする物と考えられる。東側延長部は、やや北寄りに進路をとりつつあるようだ。出土遺物なし。

4 総括

島田遺跡の調査では竪穴住居(竪穴状遺構)は85番まで付番さ

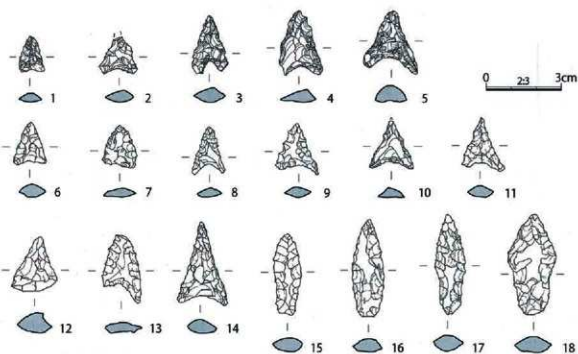
れており、うち現地で作成された図面上で遺構の範囲が確認できるものは76基である。そのほか建物4軒(うち3号建物は建物ではない可能性有り)、土坑が7基である。現地における調査時の遺構の整理には錯誤が目立ち、遺物の出土状況も不明なおおしい。よって出土遺物から遺構毎の時期を細かく考えるのは注意を要するものの、大きく分けると、始めに調査区西側の円形竪穴住居の10号・30号竪穴住居で出土する甕には如意型の口縁端部に刻み目が施されるものと2条の刻目突帯文が施されるものが見られる。また10号では外傾接合のなかに割合は少ないが内傾接合のものも散見できる。それに対し30号では甕のほか、大小の壺の出土がある。時期は弥生時代前期末と考えられ、10号竪穴住居の方がやや古い(116図1)。調査区を南北に分ける2号溝状遺構の両側で検出された竪穴住居や土坑から



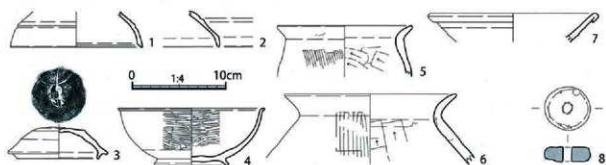
第113図 島田遺跡 その他の遺構 出土遺物実測図[1/4]

出土した須恵器の坏蓋の多くは、天井部と口縁部を分ける稜線が走り、口縁端部内面に段が付く、北部九州の須恵器の編年におけるⅢa期のもので、6世紀中頃と考えられる(116図2)。なお2号溝状遺構は集落のもっとも密度の高い箇所を通っているが、その性格は不明。また5号土坑からは白玉や手捏ね土器、玉状土製品、土製模造鏡などが多く出土し、周辺では竪穴住居などの遺構の密度が低く、特別な意味を持つ空間と考えられる。最後に調査区の南側及び東側で、数基の竪穴住居と1号建物から出土した遺物が、遺構に伴うものの中で時期が最も新しく、中に須恵器の蓋のかがりが失われ、端部が嘴状に下降するⅦ期の特徴がみられるものを含み、8世紀頃と考えられる(116図3)。

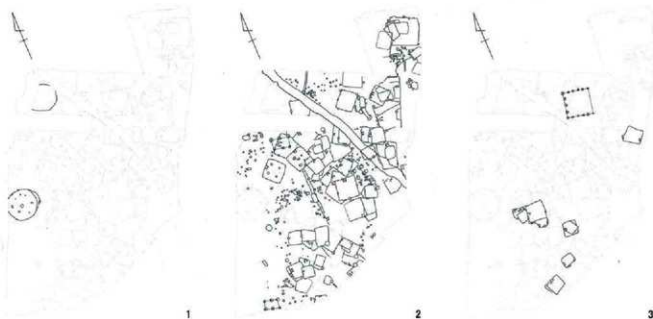
向田遺跡は、調査時の資料に乏しく、内容について不明な点が多いが、今後周辺地域の調査によって以前の矢部川と流域内の流路についてより明らかにされていくことが望まれる。



第114図 島田遺跡 石器 実測図[2/3]



第115図 島田遺跡 その他の遺物 実測図[1/4]



第116図 島田遺跡 遺構時代毎推移 [1/900]

遺物觀察表

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

図版

凡例	
遺構	遺物
(図版番号)遺構名	(図版番号)採図番号・種類 遺構名



図版1 烏田遺跡 (1)空撮 (西から)

図版 2 島田遺跡 (遺構)



(1) 1・3・4・5号竪穴住居
2号竪穴状遺構 (南から)



(2) 2号竪穴状遺構 (南西から)



(3) 2号竪穴状遺構遺物出土状況 (北から)



(4) 3号竪穴住居 (南から)



(5) 4号竪穴住居 (西から)



(6) 5号竪穴住居カマド部分 (北西から)



(7) 6号竪穴状遺構 (北西から)

図版3 島田遺跡（遺構）



(1)7号竪穴住居（南西から）



(5)10号竪穴住居（南西から）



(2)8号竪穴住居（南東から）



(6)11号竪穴住居（南東から）



(3)9号竪穴住居（北西から）



(7)12・13号竪穴住居（南東から）



(4)9号竪穴住居カマド検出状況（西から）



(8)13号竪穴住居南側カマド（南東から）

図版4 島田遺跡(遺構)



(1)15・16号竪穴住居(南東から)



(5)18号竪穴住居(東から)



(2)16号竪穴住居カマド(南西から)



(6)18号竪穴住居カマド(南東から)



(3)17号竪穴住居(北西から)



(7)18・19号竪穴住居(東から)



(4)17号竪穴住居カマド(西から)



(8)19号竪穴住居(南東から)

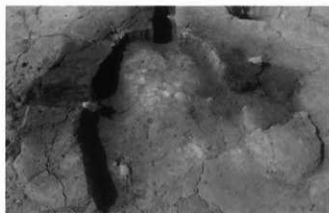
図版5 島田遺跡（遺構）



(1) 20号竪穴住居（南東から）



(5) 22号竪穴住居カマド（西から）



(2) 20号竪穴住居カマド（東から）



(6) 23号竪穴住居（南から）



(3) 21・25号竪穴住居（南から）



(7) 23・24号竪穴住居（南から）



(4) 22・23号竪穴住居（南から）



(8) 24号竪穴住居カマド（南から）

図版 6 島田遺跡 (遺構)



(1) 25号竪穴住居カマド (東から)



(5) 27号竪穴住居カマド (南東から)



(2) 26号竪穴住居カマド検出前 (南から)



(6) 28・29号竪穴住居 (南東から)



(3) 26号竪穴住居カマド (南から)



(7) 28号竪穴住居カマド (南東から)



(4) 27号竪穴住居 (南から)



(8) 30号竪穴住居 (南から)

図版 7 鳥田遺跡 (遺構)



(1)30号竪穴住居中央土坑 (北西から)



(5)33号竪穴住居カマド (南から)



(2)31号竪穴住居 (南から)



(6)34号竪穴状遺構 (南から)



(3)31号竪穴住居カマド (南から)



(7)34号竪穴住居カマド (東から)



(4)32号竪穴状遺構、33号竪穴住居 (南から)



(8)35号竪穴住居 (南東から)

図版 8 島田遺跡 (遺構)



(1) 35号竪穴住居カマド (東から)



(5) 39号竪穴住居 (南から)



(2) 36号竪穴住居 (南東から)



(6) 39号竪穴住居カマド (南東から)



(3) 36号竪穴住居カマド (東から)



(7) 40・41号竪穴住居カマド (南東から)



(4) 37・38号竪穴状遺構 (南から)



(8) 40号竪穴住居カマド (南東から)

図版9 島田遺跡(遺構)



(1)41号竪穴住居カマド(南東から)



(5)43号竪穴状遺構カマド(南から)



(2)42号竪穴住居(南から)



(6)44号竪穴状遺構カマド(南西から)



(3)42号竪穴住居カマド(南東から)



(7)45号竪穴住居(西から)



(4)43号竪穴状遺構(南から)



(8)45号竪穴住居カマド(西から)

図版 10 島田遺跡 (遺構)



(1) 46号竪穴住居、49号竪穴状遺構 (東から)



(5) 52号竪穴状遺構カマド (西から)



(2) 50・51号竪穴住居 (東から)



(6) 53号竪穴状遺構 (西から)



(3) 50号竪穴住居カマド (東から)



(7) 53号竪穴状遺構 (南西から)



(4) 52・53号竪穴状遺構 (南から)

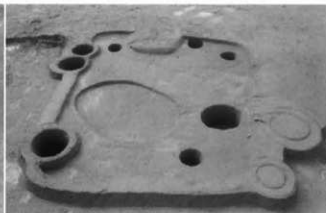


(8) 54・70号竪穴住居 (東から)

図版 11 島田遺跡 (遺構)



(1) 54号竪穴住居カマド (東から)



(5) 59号竪穴住居カマド (東から)



(2) 55・56号竪穴状遺構 (北東から)



(6) 59号竪穴住居カマド (東から)



(3) 57号竪穴住居、
77号竪穴状遺構 (北東から)



(7) 60・61・62・78号竪穴住居 (東から)



(4) 58号竪穴住居カマド (北東から)



(8) 60号竪穴住居カマド (東から)

図版 12 島田遺跡 (遺構)



(1) 63号竪穴住居 (南から)



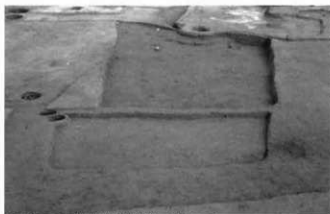
(5) 72号竪穴住居カマド (東から)



(2) 62号竪穴住居カマド (南から)



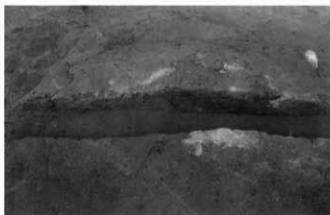
(6) 76号竪穴住居遺物出土状況 (北から)



(3) 67・74号竪穴状遺構 (南から)



(7) 78号竪穴住居カマド (北東から)



(4) 70号竪穴住居内焼土断面

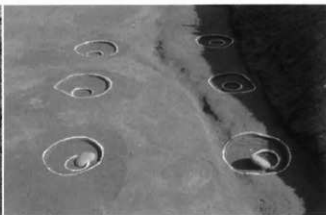


(8) 79号竪穴住居遺物出土状況 (遺構箇所不明)

図版 13 島田遺跡 (遺構)



(1) 82号竪穴状遺構 (東から)



(5) 4号建物 (西から)



(2) 82号竪穴状遺構カマド (東から)



(6) 1号土坑 (北から)



(3) 84号竪穴状住居 (西から)



(7) 2・3・4号土坑 (北から)



(4) 84号竪穴状住居 (南から)

図版 14 島田遺跡 (遺構)



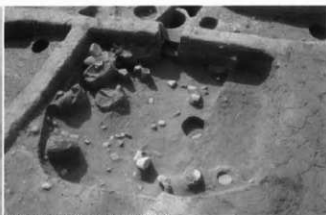
(1) 5号土坑 (西から)



(5) 2号溝状遺構 (南から)



(2) 7号土坑 (南東から)



(6) 1号不明遺構 (北から)



(3) 1号溝状遺構 (南から)



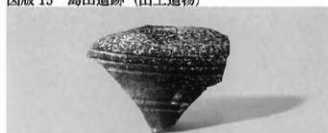
(7) 2号不明遺構 (南西から)



(4) 2号溝状遺構 (南から)



(8) 3号不明遺構 (南から)



(1)7 図 2

1号竪穴住居



(2)7 図 3

1号竪穴住居



(3)7 図 5

1号竪穴住居



(4)7 図 15

2号竪穴状遺構



(5)7 図 17

2号竪穴状遺構



(6)7 図 18

2号竪穴状遺構(13)15 図 4



(7)7 図 19

2号竪穴状遺構



(8)7 図 20

2号竪穴状遺構



(9)7 図 25

2号竪穴状遺構



(10)7 図 28

2号竪穴状遺構



(11)7 図

1号竪穴状遺構



(12)7 図

2号竪穴状遺構



5号竪穴住居

図版 16 島田遺跡 (出土遺物)

(1) 15 図 5



5 号竪穴住居

(2) 15 図 8



6 号竪穴状遺構

(3) 15 図 9



6 号竪穴状遺構

(4) 15 図 10



6 号竪穴状遺構

(5) 17 図 12



10 号竪穴住居

(6) 17 図 13



10 号竪穴住居

(7) 17 図 14



10 号竪穴住居

(8) 17 図 16



10 号竪穴住居

(9) 17 図 17



10 号竪穴住居

(10) 17 図 18



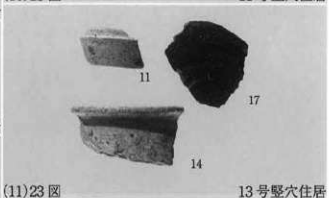
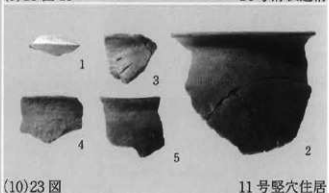
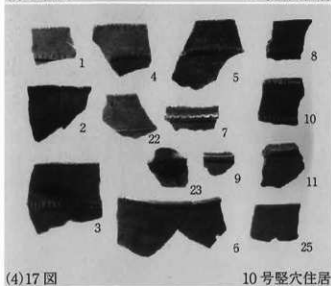
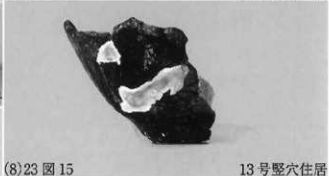
10 号竪穴住居

(11) 17 図 19



10 号竪穴住居

図版 17 島田遺跡 (出土遺物)

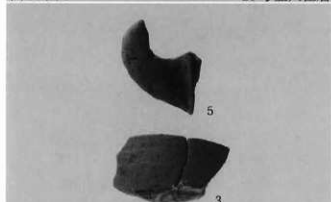


図版 18 島田遺跡 (出土遺物)



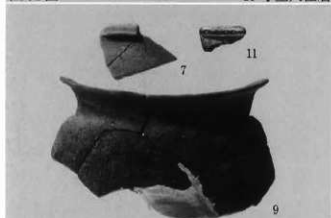


20 号竪穴住居



(2)31 図

19 号竪穴住居



(3)31 図

20 号竪穴住居



(4)35 図 9

23 号竪穴住居



(5)35 図 10

24 号竪穴住居



(6)35 図 11

24 号竪穴住居



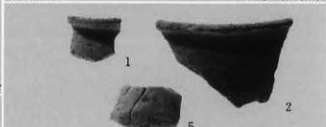
(7)35 図 13

24 号竪穴住居



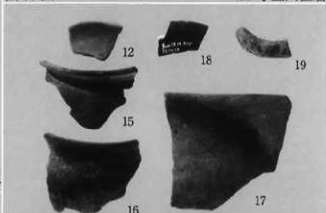
(8)35 図 14

24 号竪穴住居



(9)35 図

22 号竪穴住居



(10)35 図

24 号竪穴住居



(11)40 図 1

25 号竪穴住居



(12)40 図 7

27 号竪穴住居



28 号竪穴住居



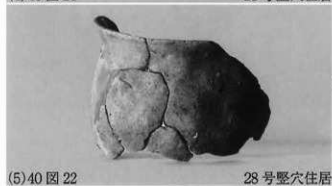
28 号竪穴住居



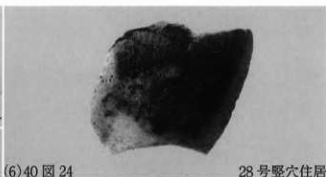
28 号竪穴住居



28 号竪穴住居



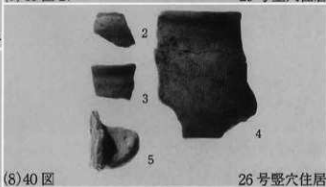
28 号竪穴住居



28 号竪穴住居



29 号竪穴住居



26 号竪穴住居



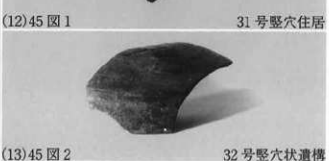
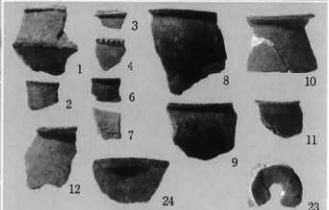
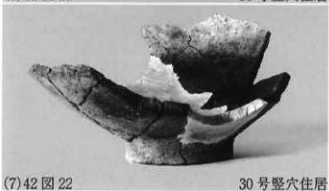
30 号竪穴住居

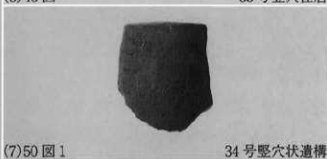
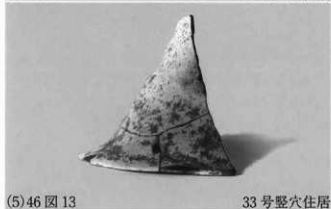
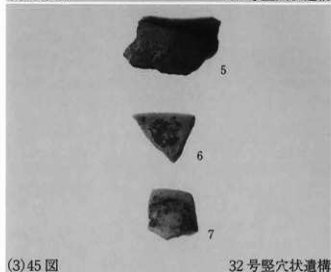


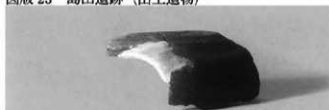
30 号竪穴住居



30 号竪穴住居







(1)50 図 5

35 号竪穴住居



(7)50 図 13

36 号竪穴住居



(2)50 図 6

35 号竪穴住居



(8)50 図 13

36 号竪穴住居



(3)50 図 7

35 号竪穴住居



(9)50 図 15

36 号竪穴住居



(4)50 図 9

35 号竪穴住居



(10)54 図 9

41 号竪穴住居



(5)50 図 11

35 号竪穴住居



(11)54 図 10

41 号竪穴住居



(6)50 図 12

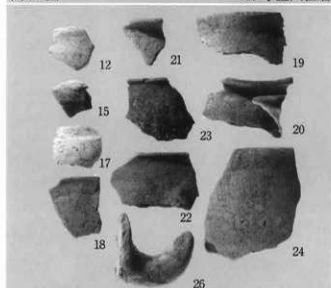
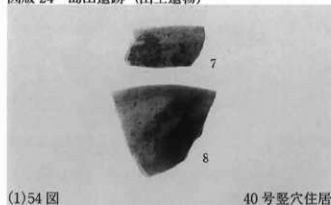
35 号竪穴住居



(12)54 図 11

41 号竪穴住居







(1)56 図 12

42 号竪穴住居



(2)56 図 13

42 号竪穴住居



(3)56 図 14

42 号竪穴住居



(4)56 図 15

42 号竪穴住居



(5)56 図 16

42 号竪穴住居



(6)56 図 19

42 号竪穴住居



(7)56 図 22

42 号竪穴住居



(8)56 図 23

42 号竪穴住居



(9)56 図 24

42 号竪穴住居



(10)56 図 25

42 号竪穴住居



(11)56 図 26

42 号竪穴住居



(12)56 図 29

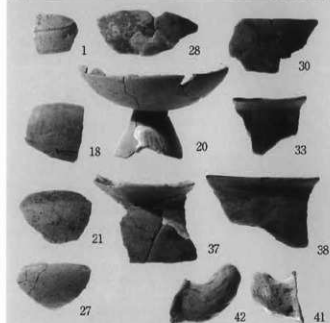
42 号竪穴住居

図版 26 島田遺跡 (出土遺物)



(1)56 図 34

42 号竪穴住居



(2)56 図

42 号竪穴住居



(3)61 図 2

43 号竪穴住居



(4)61 図 3

43 号竪穴住居



(5)61 図 4

43 号竪穴住居



(6)61 図 6

44 号竪穴住居



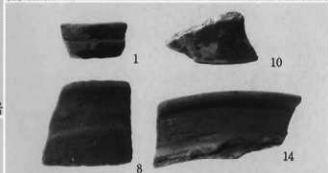
(7)61 図 7

44 号竪穴住居



(8)61 図 12

46 号竪穴住居



(9)61 図

43・44 号竪穴住居
45・46 号竪穴住居



(10)63 図

49 号竪穴住居



(11)69 図 1

50 号竪穴住居



(12)69 図 2

50 号竪穴住居



(1)69 図 4

50 号竪穴住居



(9)69 図 32

54 号竪穴住居



(2)69 図 7

52 号竪穴状遺構



(10)69 図 33

54 号竪穴住居



(3)69 図 8

52 号竪穴状遺構



(11)69 図 34

54 号竪穴住居



(4)69 図 10

52 号竪穴状遺構



(12)69 図 35

54 号竪穴住居



(5)69 図 12

52 号竪穴状遺構



(6)69 図 16

53 号竪穴状遺構



(13)69 図

50・51 号竪穴住居



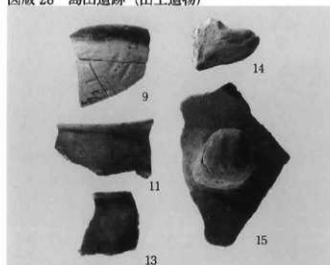
(7)69 図 17

53 号竪穴状遺構

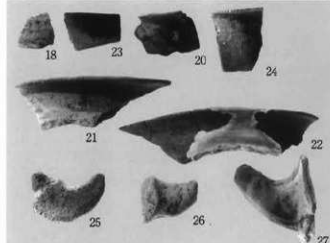


(8)69 図 19

53 号竪穴状遺構



(1) 69 図 52 号竪穴状遺構



(2) 69 図 53 号竪穴状遺構



(3) 72 図 1 57 号竪穴住居



(4) 72 図 2 57 号竪穴住居



(5) 72 図 3 57 号竪穴住居



(6) 72 図 4 57 号竪穴住居



(7) 72 図 5 57 号竪穴住居



(8) 78 図 1 59 号竪穴住居



(9) 78 図 11 62 号竪穴住居



(10) 78 図 13 62 号竪穴住居

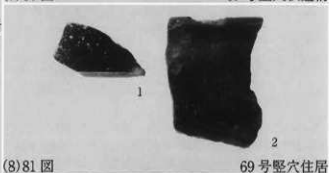
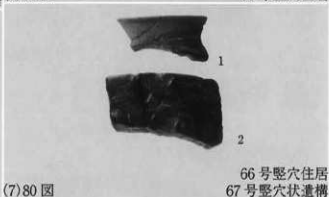
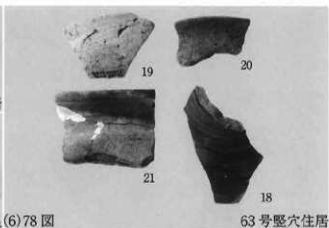
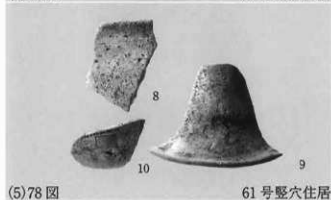
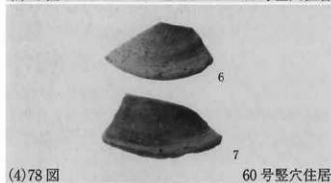
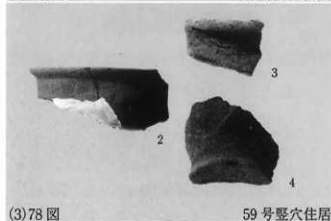


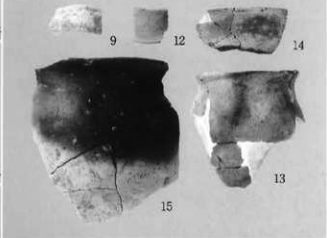
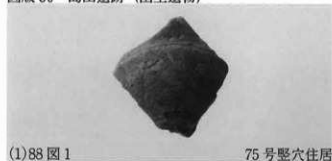
(11) 78 図 14 63 号竪穴住居



(12) 78 図 15 63 号竪穴住居

図版 29 高田遺跡 (出土遺物)







(1)93 図 3

82 号竪穴状遺構



(7)100 図 1

1 号土坑



(2)93 図 4

82 号竪穴状遺構



(8)100 図 3

2 号土坑



(3)93 図 7

84 号竪穴状住居



(4)93 図 8

84 号竪穴状住居



(9)100 図 10

4 号土坑



(5)93 図 9

85 号竪穴状住居



(10)100 図 11

5 号土坑



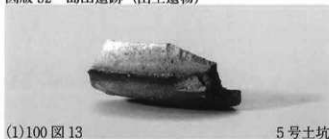
(6)97 図 3

3 号建物



(11)100 図 12

5 号土坑



5号土坑



7号土坑



7号土坑



2号溝状遺構



2号溝状遺構



2号溝状遺構



2号溝状遺構



2号溝状遺構



(1)103 図 29 2号溝状遺構



(2)103 図 30 2号溝状遺構



(3)104 図 52 2号溝状遺構



(4)104 図 53 2号溝状遺構



(5)104 図 67 2号溝状遺構



(6)104 図 68 2号溝状遺構



(7)104 図 79 2号溝状遺構



(8)105 図 85 2号溝状遺構



(9)105 図 91 2号溝状遺構



(10)105 図 95 2号溝状遺構



2号溝状遺構



2号溝状遺構



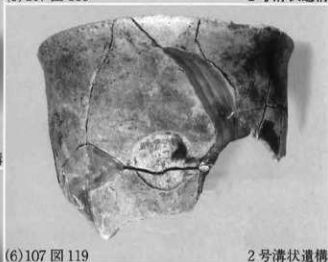
2号溝状遺構



2号溝状遺構



2号溝状遺構



2号溝状遺構



2号溝状遺構

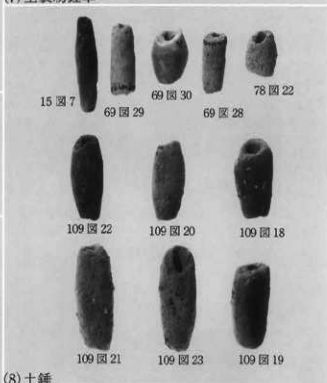
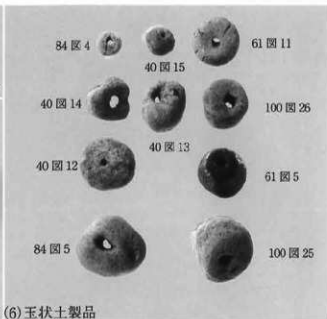
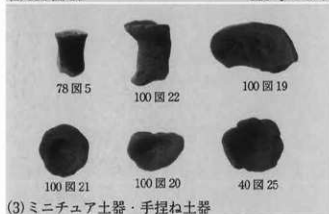


1号不明遺構



126号ビット

図版 35 島田遺跡 (出土遺物)



図版 36 島田遺跡 (出土遺物)



113 図 15



100 図 28



100 図 27



69 図 31



7 図 14



31 図 12

(1) 白玉



23 図 20



115 図 8

(2) 石製紡錘車



113 図 14



35 図 7



42 図 27



78 図 23



88 図 16



45 図 5

(3) 石製品

図版 37 向田遺跡



(1)向田遺跡（南西から）



(2)向田遺跡（北東から）

報告書抄録

ふりがな	やめしなないせきぐん19						
書名	八女市内道跡群19						
副書名	福岡県八女市酒井出所道跡の調査報告書						
巻次							
シリーズ名	八女市文化財調査報告書						
シリーズ番号	第128集						
編著者名	永田 寧(ながた やすし)						
編集機関	八女市教育委員会						
所在地	〒834-8585 福岡県八女市本町347 TEL. 0945-23-1982						
発行年月日	西暦2020年3月31日						
ふりがな 所収道跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 道跡番号	北緯 ° 分 秒	東経 ° 分 秒	調査期間	調査面積 (㎡)	調査 原因
ももぞ 島田	福岡県八女市酒井 島田	40210 7012	33° 11' 46"	130° 33' 43"	平成5年8月25日 ～ 平成6年1月6日	約 6,000㎡	園地整備
ももぞ 島田	福岡県八女市酒井 島田	40210 8039	33° 11' 40"	130° 33' 34"	平成5年9月27日 ～ 平成5年11月8日	約 800㎡	かんがい、 排水路事業
所収道跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項	
ももぞ 島田	集落	弥生中期 古墳時代	聖穴住居 建物 土坎 溝状遺構		弥生土器・須恵器・土師器・石器・ミナミア土 器等		
ももぞ 島田	田・河川	不明	建物 聖穴住居 井戸		出土品なし		
要約	島田道跡 標高26～27.7mのところあり、北側から南側にかけて低くなる。弥生時代～古墳時代の集落跡で、調査時の聖穴住居の計数は84基でなされているが、聖穴住居と考えられる遺構の数は調査で確認出来た範囲では56基程度であろう。弥生時代前期末の聖穴住居2基のほかは、大部分が6世紀中頃から後半にかけての集落で、おむかひに7世紀後半までの遺物を伴う聖穴住居が散見される。調査範囲は溝状遺構によって東西に分かれているものの、この溝の東西による差異は判断できなかった。土坎のうち、3号土坎からは土製模造瓦や土製土製土、玉土、手ねり土などが集中して出土しているが性格は不明である。 向田道跡 調査時の記録に乏しく、遺物の出土も無い。田・河川とされる溝状遺構が検出されているが内容は不明。西側で三河小学校校庭道跡群の溝状遺構と同一の流れである推測は概算の中であてられている。						

八女市内遺跡群 19

八女市文化財調査報告書

第 128 集

令和 2 年 3 月 31 日

発行 八女市教育委員会

八女市本町 647

印刷 (株) 東兄弟

八女市折袴院 563